

翠好書

伍

^ 13
3024
5 止



琴^{きん}聲^{せい}美^び人^{じん}錄^{ろく}
三十上の卷

門へ13
3024
巻 5

昭和九年
七月二十五日
勝永



美人録十三

琴聲

美人録

上卷

柳亭作

梅峰樓画



泉

志太

梓

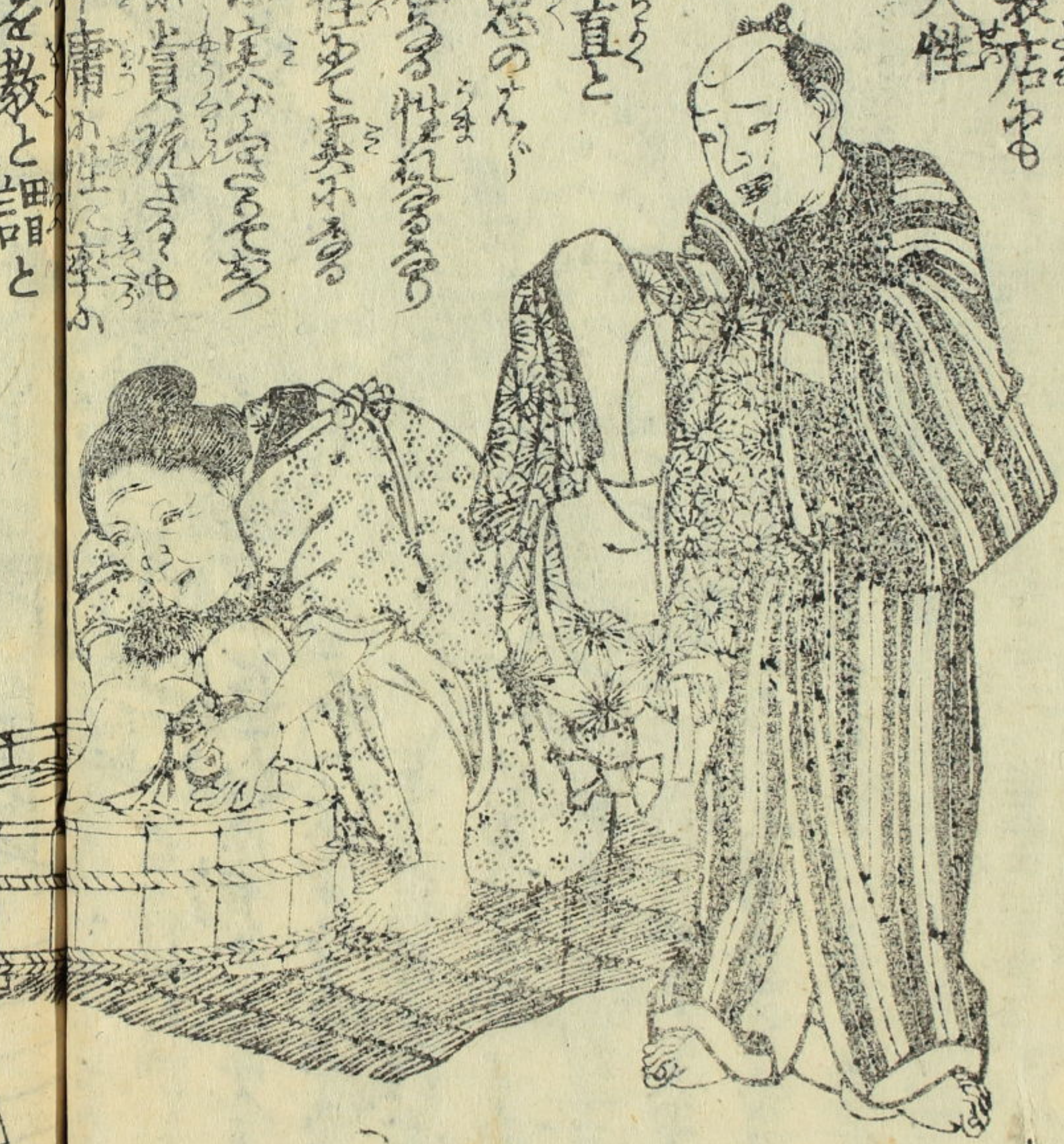
性馬麻と利口のありそものたのめい
 羨物にかなるる才不才のあり人の面の異々如く
 綿室もなごありあり裏店も
 美人あごごとく是又天性
 ろりさそ七八葉にのり
 まき物心と辨き
 より心に善悪の二
 ろりさるるのちめ直と
 ろひて心直する性悪のた
 めの怨とひて心に自然なる性良なり
 是またとてのちある天性をすまふる
 能ももつひの虫のため実なるるる
 るものもつひの性中人情の性率の
 あるごとく性直の性中人情の性率の

之を道との道を修を教と訓と
 のうららるる人も親のふと耳のれを
 終末勤の身とるる天の善性率の
 ぶるの天四討なりとあるるるる
 のうららるる慈心修長して主
 家を畧る其天四討の事
 世美人源の十二編の紀と
 世教の万一とるるふあ

安政二卯三月十日

八十七巻

京山



琴声美人録十三編

今更に川を
あはれむ

今更に川を
あはれむ

あはれむ

あはれむ

あはれむ

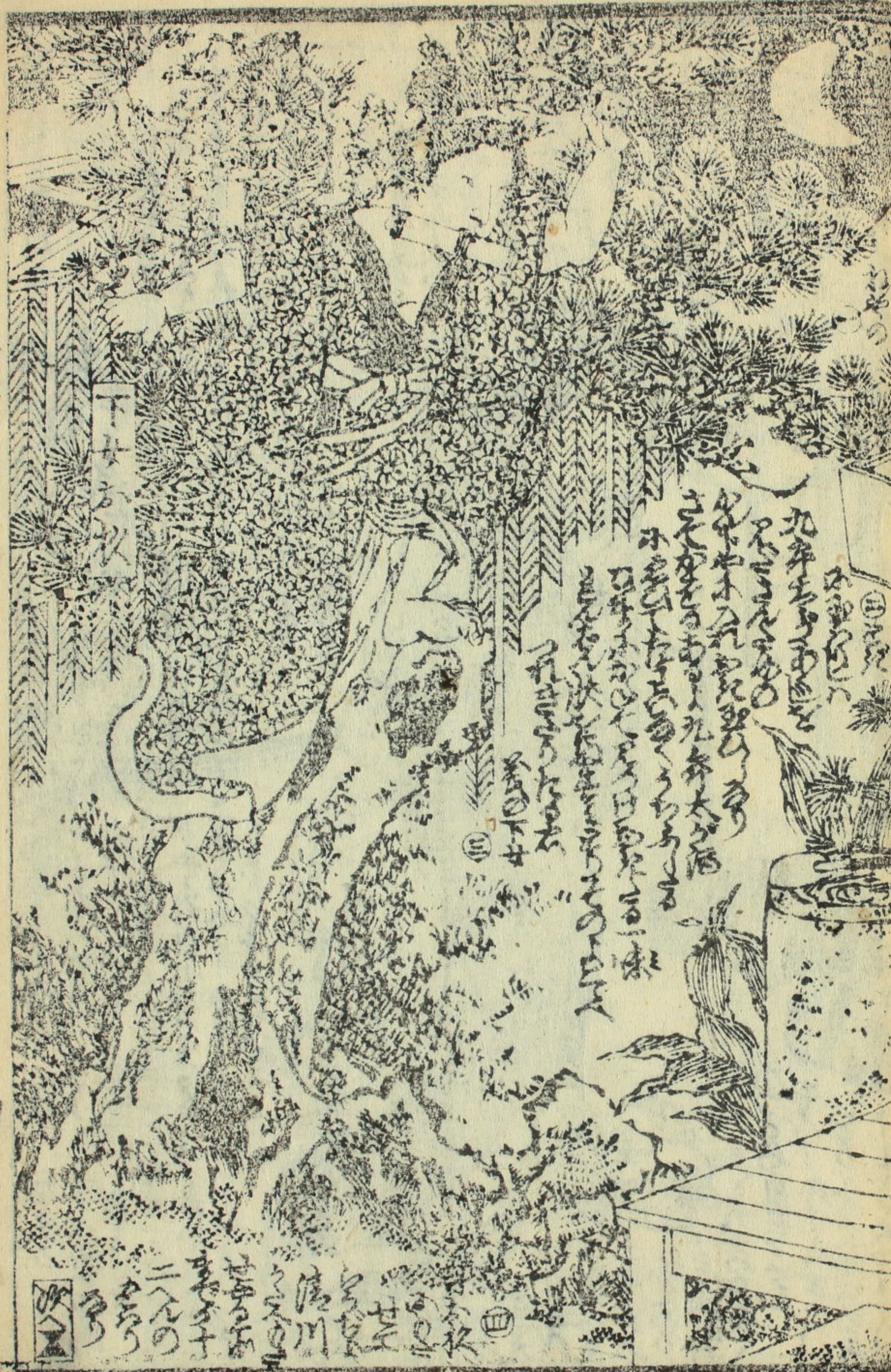
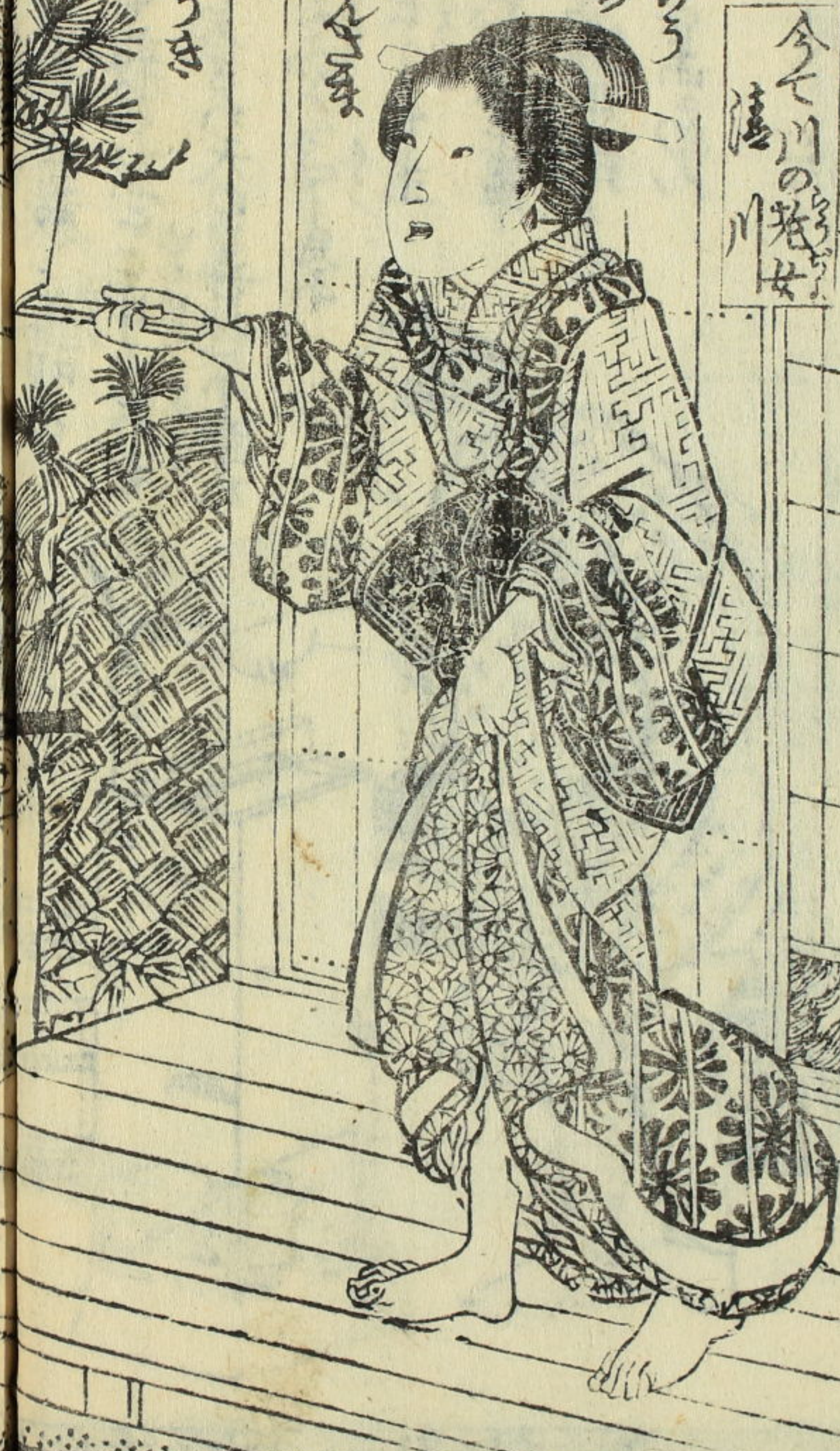
あはれむ

あはれむ

あはれむ

あはれむ

今更に川を
あはれむ



二八の
あはれむ



悪くしての悪くはれぬ
悪くしての悪くはれぬ
悪くしての悪くはれぬ
悪くしての悪くはれぬ
悪くしての悪くはれぬ

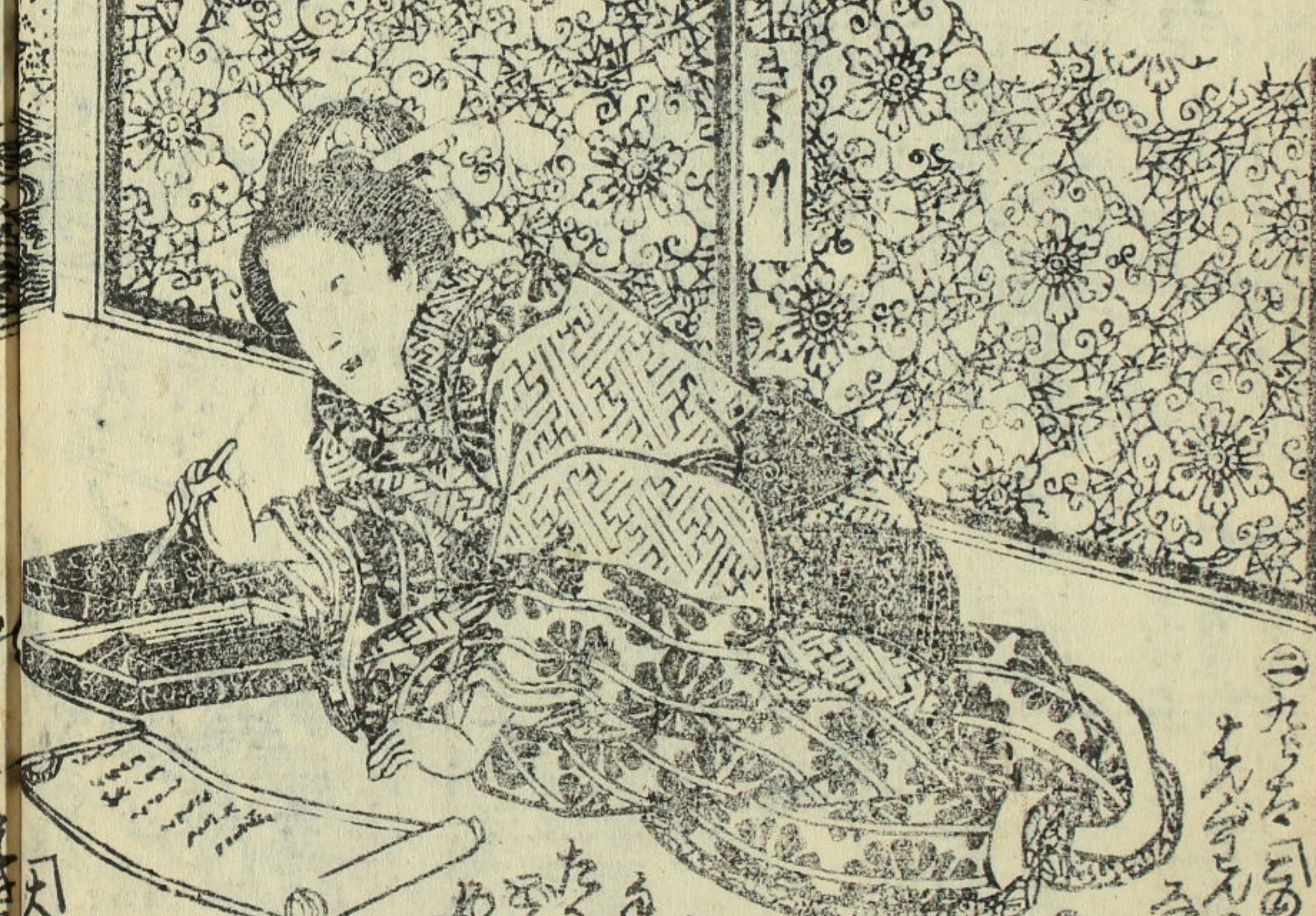


九年大

あつては小を
あつては小を
あつては小を
あつては小を
あつては小を

あつては小を
あつては小を
あつては小を
あつては小を
あつては小を

あつては小を
あつては小を
あつては小を
あつては小を
あつては小を

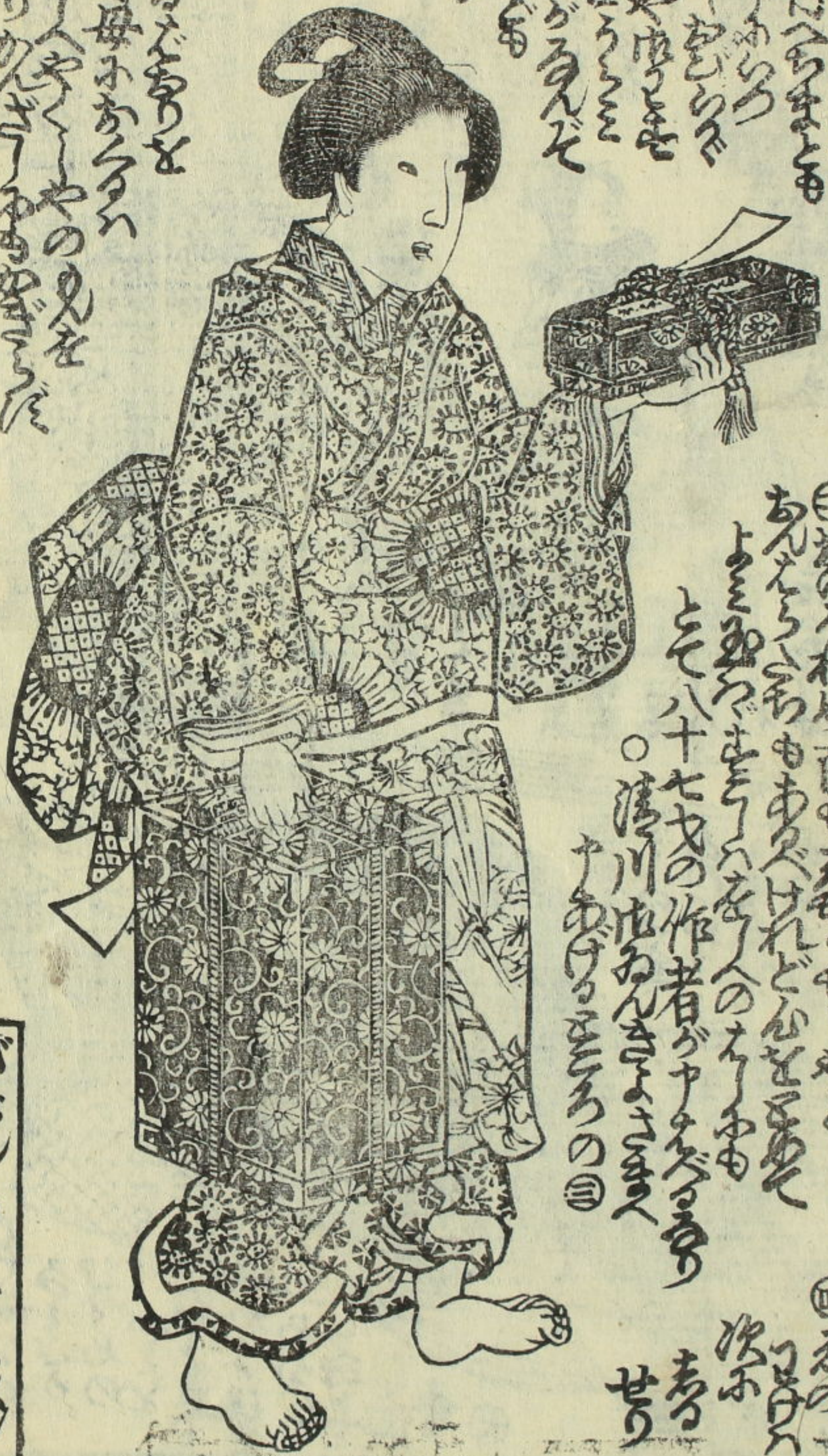


九年大

あつては小を
あつては小を
あつては小を
あつては小を
あつては小を

京山老人作

芳員画



あつたれぬ百もあやうちと
あつたれぬもあつたれぬと
よもあつたれぬもあつたれぬと
とて八十七の作者がササキの
○ 清川由あんまの
ササキの
④ 芳員
の
次
の
世

びんろく十二
上のまじり

琴声美人録十三編下

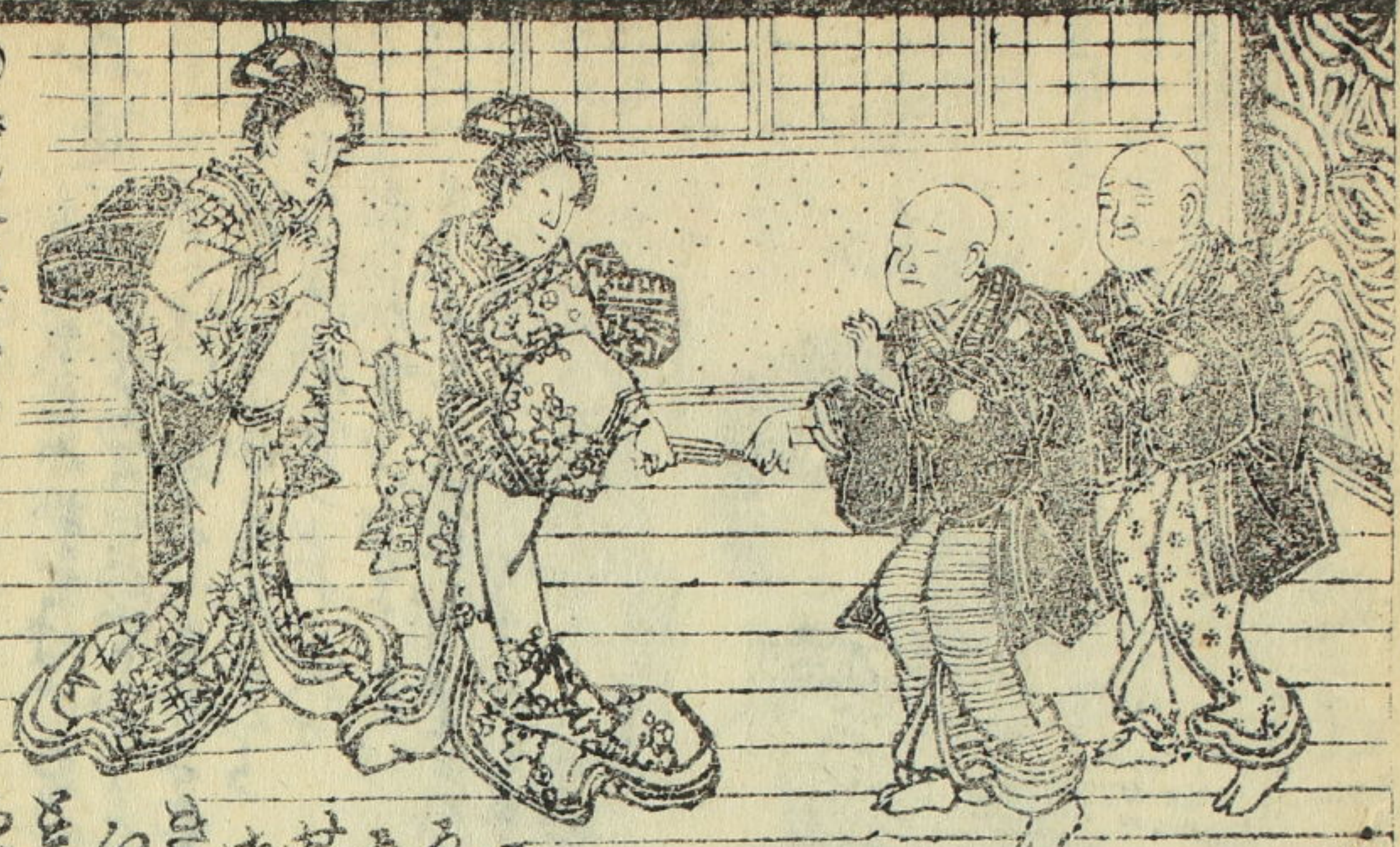
あつたれぬ百もあやうちと
あつたれぬもあつたれぬと
よもあつたれぬもあつたれぬと
とて八十七の作者がササキの
○ 清川由あんまの
ササキの
④ 芳員
の
次
の
世

五段

あつたれぬ百もあやうちと
あつたれぬもあつたれぬと
よもあつたれぬもあつたれぬと
とて八十七の作者がササキの
○ 清川由あんまの
ササキの
④ 芳員
の
次
の
世



あつたれぬ百もあやうちと
あつたれぬもあつたれぬと
よもあつたれぬもあつたれぬと
とて八十七の作者がササキの
○ 清川由あんまの
ササキの
④ 芳員
の
次
の
世



④ 今川長房の
 家尾九郎太

六段 今川の長房の事を
 太刀とて二十七八男が
 ようやくとてさすもあ
 らぬとていけんやの
 ちりあれどもあて
 らぬ人のかまをん
 天のちちをさあ
 ざとてて



⑤ 今川長房の
 家尾九郎太

七段 今川長房の
 家尾九郎太

⑥ 長房の事を
 太刀とて二十七八男が
 ようやくとてさすもあ
 らぬとていけんやの
 ちりあれどもあて
 らぬ人のかまをん
 天のちちをさあ
 ざとてて

① 今川長房の
 家尾九郎太



② 今川長房の
 家尾九郎太



③ 今川長房の
 家尾九郎太

④ 今川長房の
 家尾九郎太

⑤ 今川長房の
 家尾九郎太

⑥ 今川長房の
 家尾九郎太



此女中...
 たるもの...
 母も...
 あれ...
 ち...
 や...
 あ...
 た...
 の...

日...
 日...
 日...
 日...
 日...
 日...
 日...
 日...
 日...
 日...

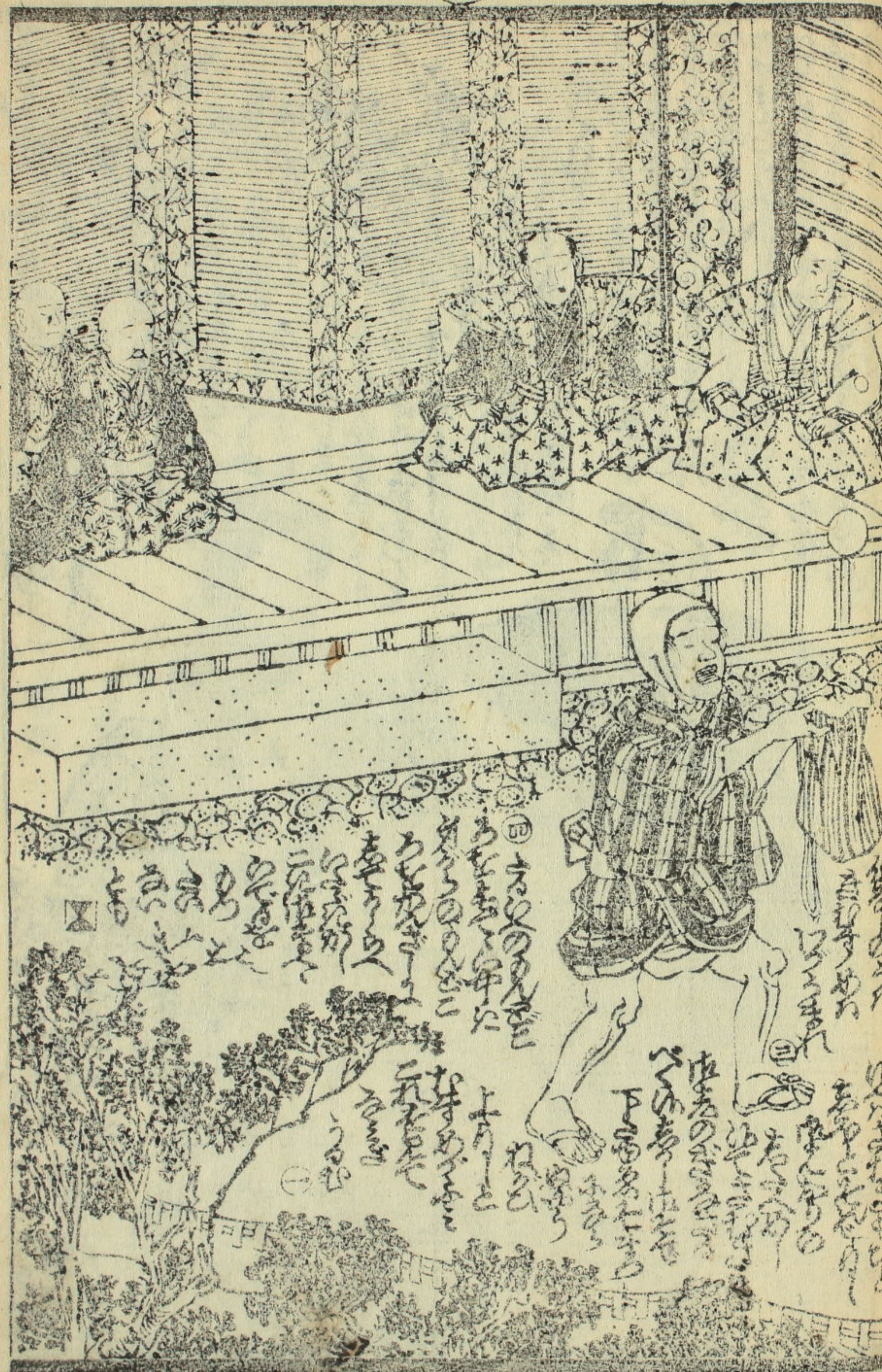


八段
 八段...
 八段...
 八段...
 八段...
 八段...
 八段...
 八段...
 八段...
 八段...
 八段...

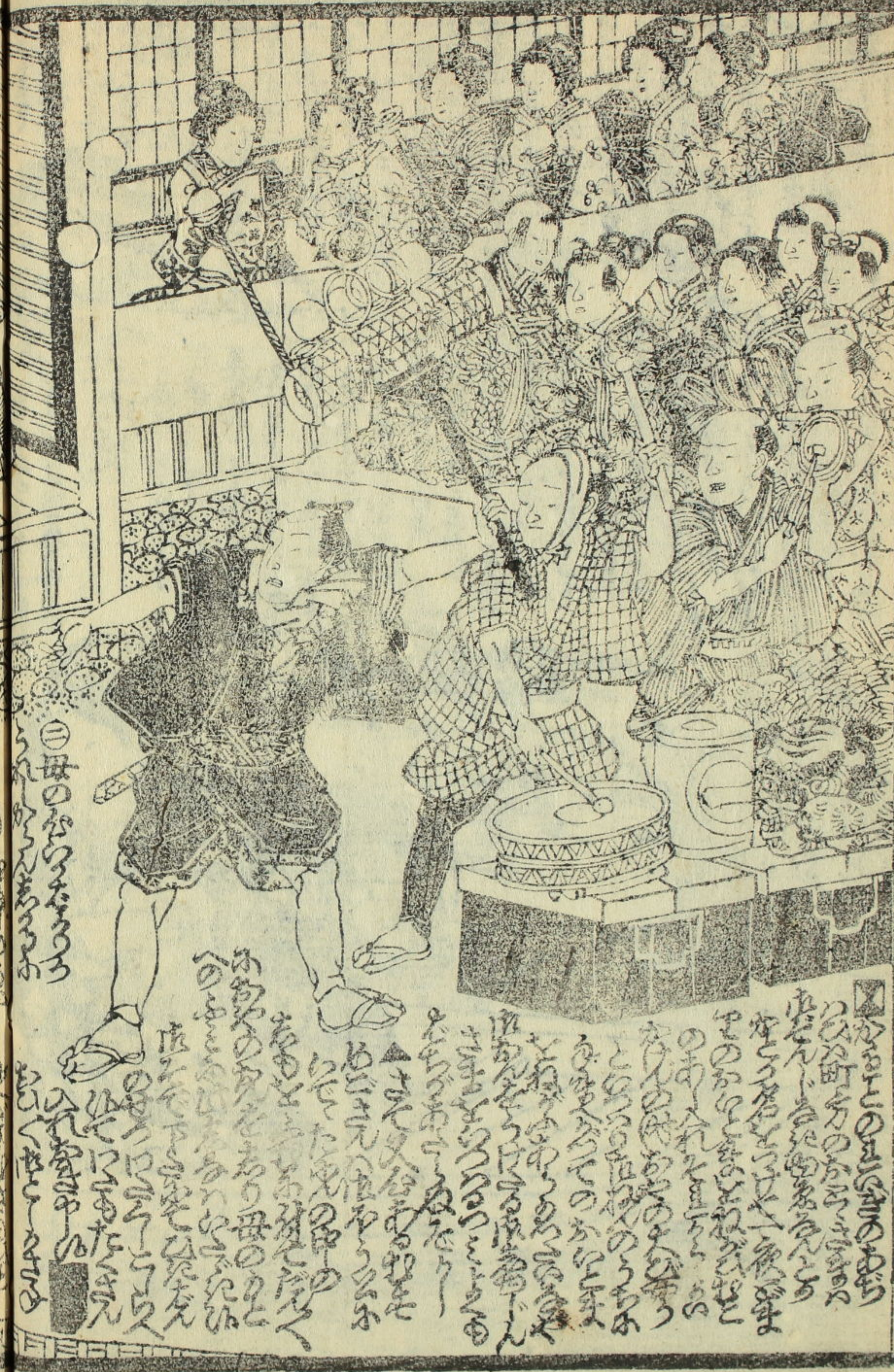
日...
 日...
 日...
 日...
 日...
 日...
 日...
 日...
 日...
 日...

新入...
 新入...
 新入...

日...



母の心のなごり
 ① 母の心のなごり
 ② 母の心のなごり
 ③ 母の心のなごり
 ④ 母の心のなごり
 ⑤ 母の心のなごり
 ⑥ 母の心のなごり
 ⑦ 母の心のなごり
 ⑧ 母の心のなごり
 ⑨ 母の心のなごり
 ⑩ 母の心のなごり



母の心のなごり
 ① 母の心のなごり
 ② 母の心のなごり
 ③ 母の心のなごり
 ④ 母の心のなごり
 ⑤ 母の心のなごり
 ⑥ 母の心のなごり
 ⑦ 母の心のなごり
 ⑧ 母の心のなごり
 ⑨ 母の心のなごり
 ⑩ 母の心のなごり

母の心のなごり

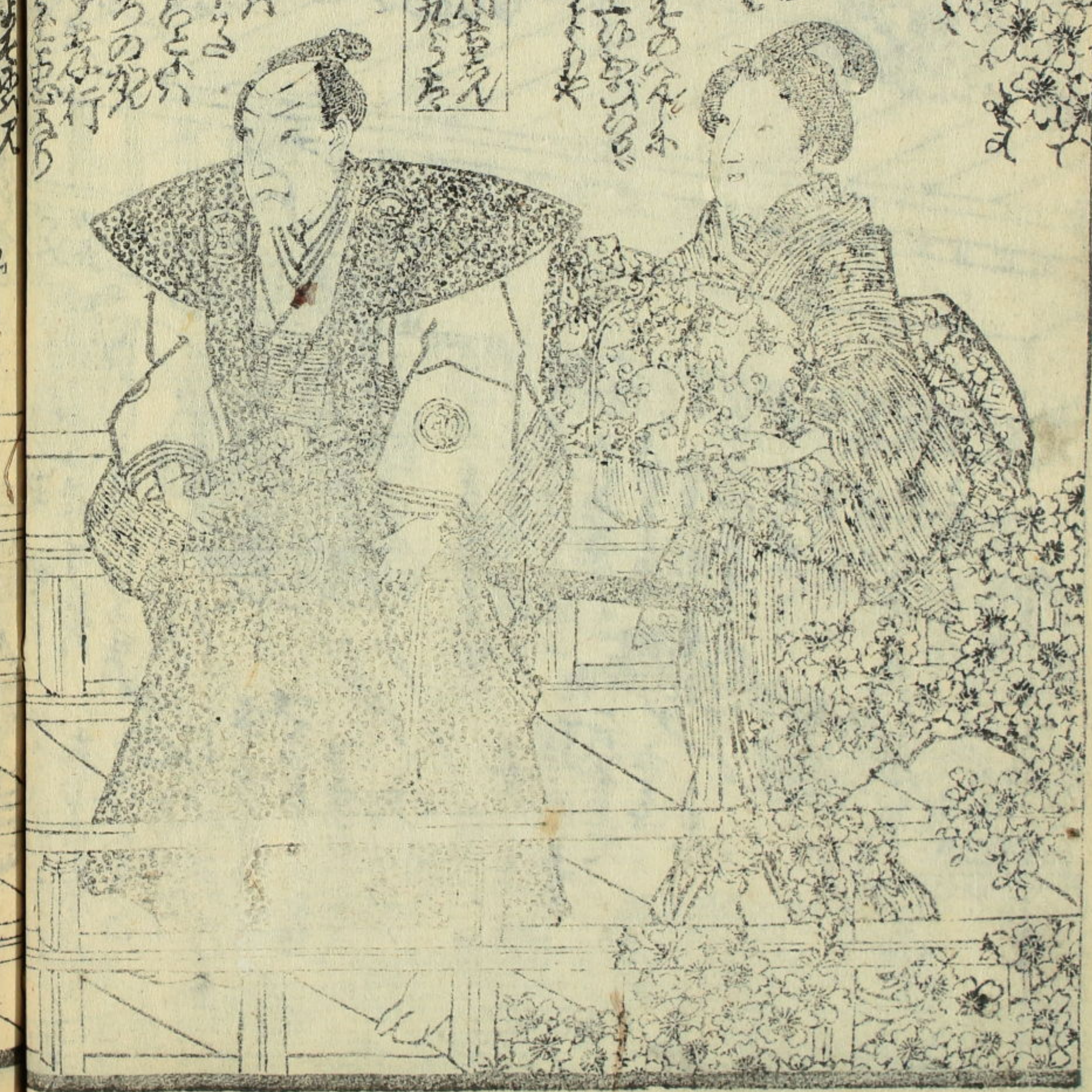
その昔は...

山井尚文

おのれは...

おのれは...

おのれは...



十郎

おのれは...

おのれは...

おのれは...



その昔は...

○度々おのゝ世く世山をねがひかひの世

あまののどけき世をねがふる
○渡川にてあまのよりのうまの
ねがひあまかを日まきまのへ
うらまもあまのト

よきふかちや
あまのよのを

よきあまのよの
まきまのちあまのよと五ッ
まきまのちあまのよと五ッ

あまのよのあまのよのあまの
あまのよのあまのよのあまの
あまのよのあまのよのあまの

あまのよのあまのよのあまの
あまのよのあまのよのあまの
あまのよのあまのよのあまの

あまのよのあまのよのあまの
あまのよのあまのよのあまの
あまのよのあまのよのあまの

かをる

九条老



○大つらの上をよきいれさけり

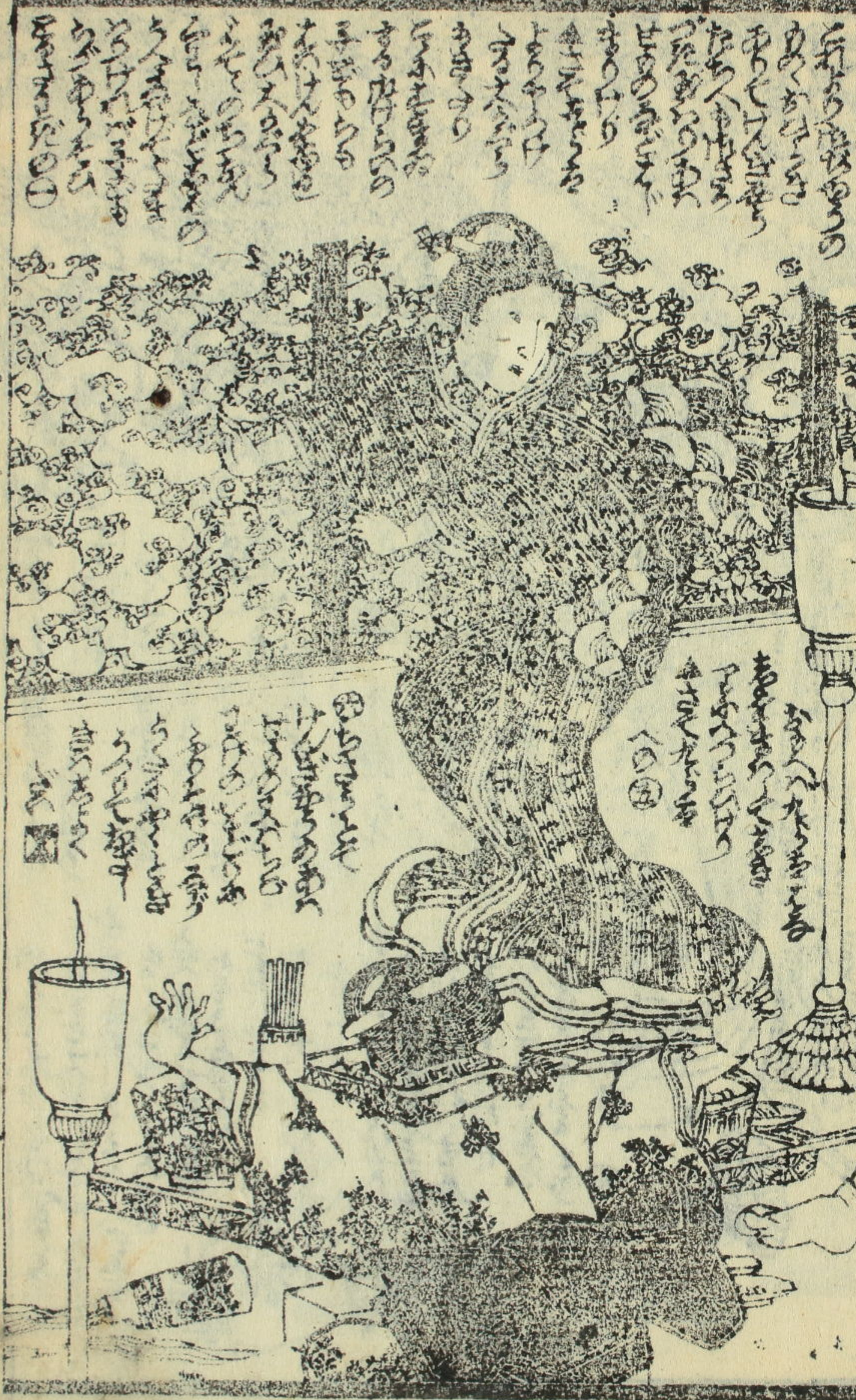
十二

かてとあまのよのあまのよのあまの
あまのよのあまのよのあまの
あまのよのあまのよのあまの

あまのよのあまのよのあまの

あまのよのあまのよのあまの

十一



あまのよのあまのよのあまの
あまのよのあまのよのあまの
あまのよのあまのよのあまの

あまのよのあまのよのあまの
あまのよのあまのよのあまの
あまのよのあまのよのあまの

あまのよのあまのよのあまの

あまのよのあまのよのあまの
あまのよのあまのよのあまの
あまのよのあまのよのあまの

あまのよのあまのよのあまの
あまのよのあまのよのあまの
あまのよのあまのよのあまの

あまのよのあまのよのあまの
あまのよのあまのよのあまの
あまのよのあまのよのあまの

あまのよのあまのよのあまの
あまのよのあまのよのあまの
あまのよのあまのよのあまの

あまのよのあまのよのあまの
あまのよのあまのよのあまの
あまのよのあまのよのあまの

あまのよのあまのよのあまの
あまのよのあまのよのあまの
あまのよのあまのよのあまの

① ちかまの口のちかまの
ちかまの

② ちかまのちかまのちかまの
ちかまのちかまのちかまの



ちかまのちかまのちかまの
ちかまのちかまのちかまの

ちかまのちかまのちかまの
ちかまのちかまのちかまの

③ ちかまのちかまのちかまの
ちかまのちかまのちかまの

④ ちかまのちかまのちかまの
ちかまのちかまのちかまの

ちかまのちかまのちかまの
ちかまのちかまのちかまの

⑤ ちかまのちかまのちかまの
ちかまのちかまのちかまの

ちかまのちかまのちかまの
ちかまのちかまのちかまの



九命太

ちかまのちかまのちかまの
ちかまのちかまのちかまの

七十八新京山作  其芳員画 



美人録十五
美人録十五
美人録十五
美人録十五
美人録十五

引つきお板仕
引つきお板仕
引つきお板仕
引つきお板仕
引つきお板仕

美人録十五
美人録十五
美人録十五
美人録十五
美人録十五



美人録十五
下の巻

琴声美人録
去年十三編の弦を音
すくく世小響たりく書肆
喜鶴堂猶十四の編ををふ
秋上梓を夏よりの
督促うちもあつね
筆を採ま
汗もあつね
眼鏡と池と文と下
青蠅硯ふ集く暑
入ふまゝなりくも八十八の老の身でよ





尾侍 姫君
尾侍 姫君
尾侍 姫君
尾侍 姫君
尾侍 姫君

千八素
京山



て飯おたく王勃が匹ものあら
ごまぐ棄るる捨ん筆るる
東店西舗も編を嗣ぐ書費
の催促いふもいづこてま
北窓小涼風をもちて
筆を採りぬ



○あふおしる人物の
十五編ふその傳を
記すべし

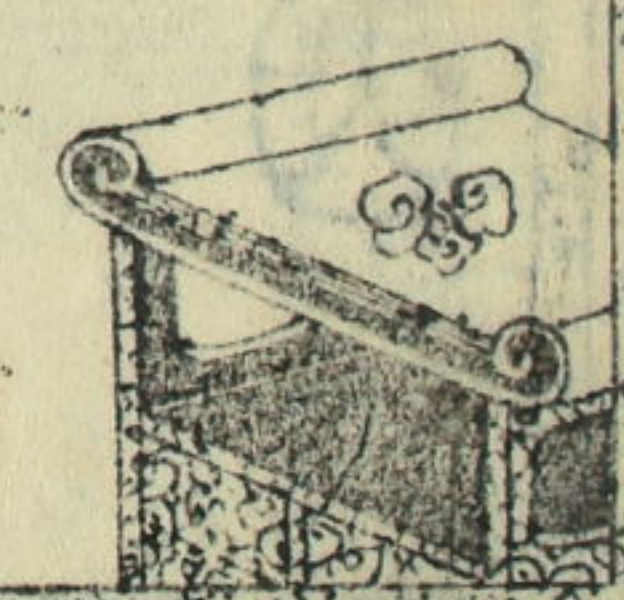
○琴の
名家
和哥の
達者
玉瀬
校

あつべけほどいふ織
て袖まどり筆小耕



細字
の撰冊
子養ふ

○鎌倉
松葉谷
常盤木家
の娘君
千歳
姫



初辰 今つむ
うまうまの
うまうまの
うまうまの
うまうまの
うまうまの
うまうまの

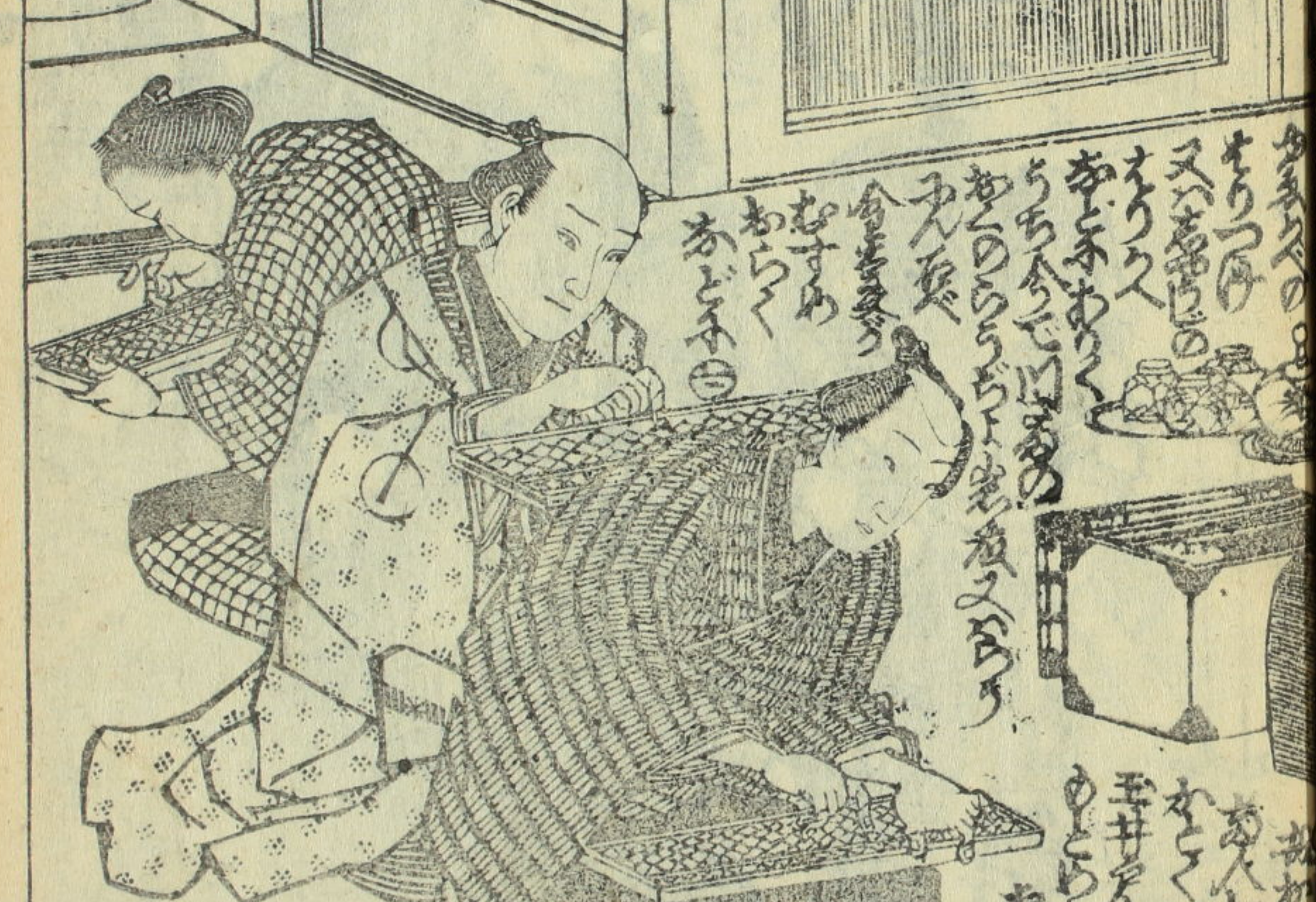
① 今つむ
うまうまの
うまうまの
うまうまの
うまうまの
うまうまの
うまうまの



① 初辰 今つむ
うまうまの
うまうまの
うまうまの
うまうまの
うまうまの
うまうまの

② 今つむ
うまうまの
うまうまの
うまうまの
うまうまの
うまうまの
うまうまの

③ 今つむ
うまうまの
うまうまの
うまうまの
うまうまの
うまうまの
うまうまの



② 今つむ
うまうまの
うまうまの
うまうまの
うまうまの
うまうまの
うまうまの

美人鏡十四



玉井戸のん
きよよ

三日月

三日月 玉井戸のん
きよよ 玉井戸のん

あつらひのあつらひ

三日月

あつらひのあつらひ

あつらひのあつらひ

あつらひのあつらひ

あつらひのあつらひ

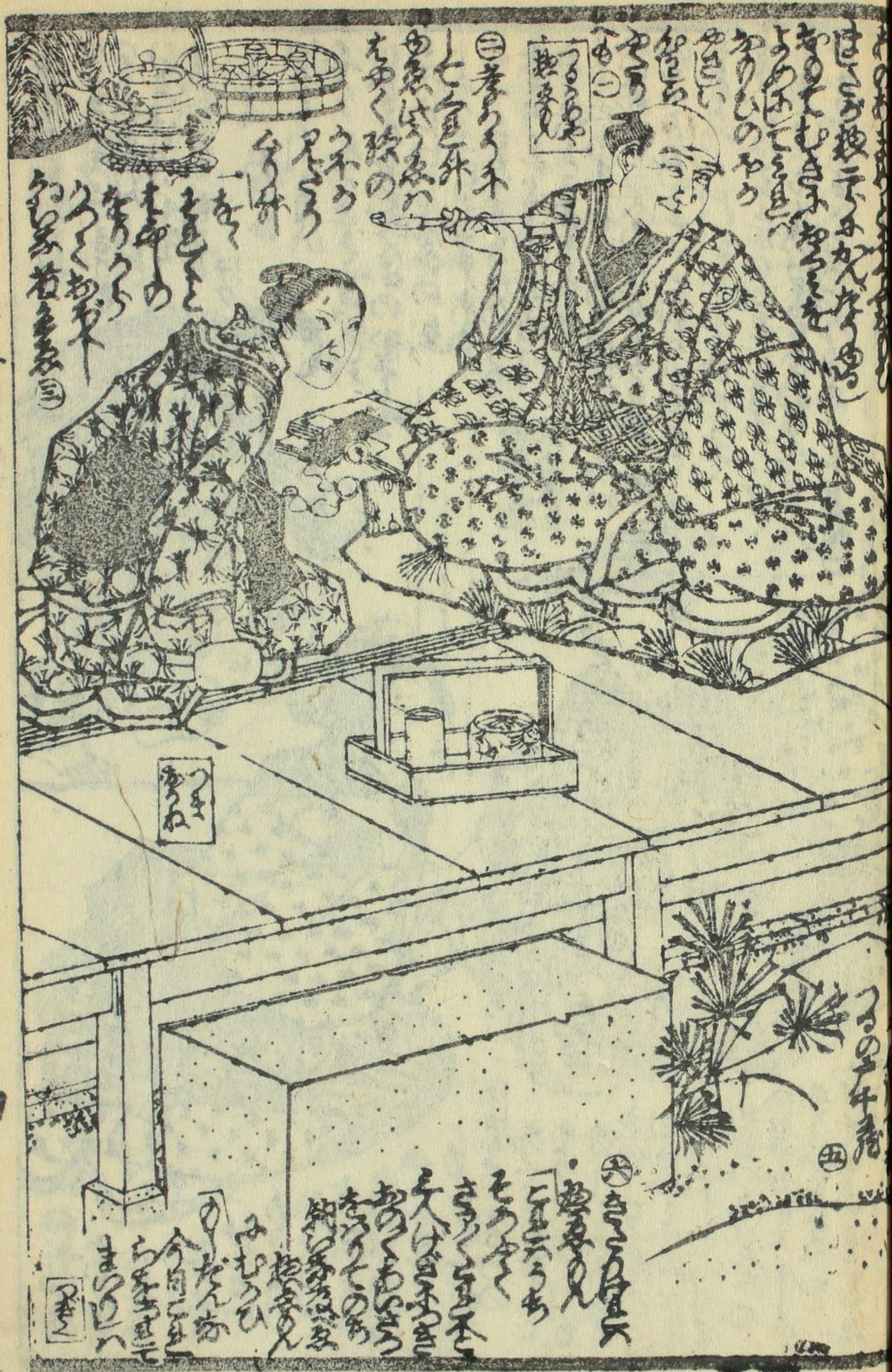
あつらひのあつらひ

あつらひのあつらひ

あつらひのあつらひ

あつらひのあつらひ

三日月の
あつらひ



三日月

三日月のん

三日月のん

三日月のん

三日月のん

三日月のん

三日月のん

三日月のん

三日月の
あつらひ

三日月の
あつらひ

三日月の
あつらひ

三日月の
あつらひ

三日月の
あつらひ

三日月の
あつらひ

三日月の
あつらひ

三日月の
あつらひ

三日月の
あつらひ

三日月の
あつらひ

三日月の
あつらひ

三日月の
あつらひ

三日月の
あつらひ

三日月の
あつらひ

三日月の
あつらひ

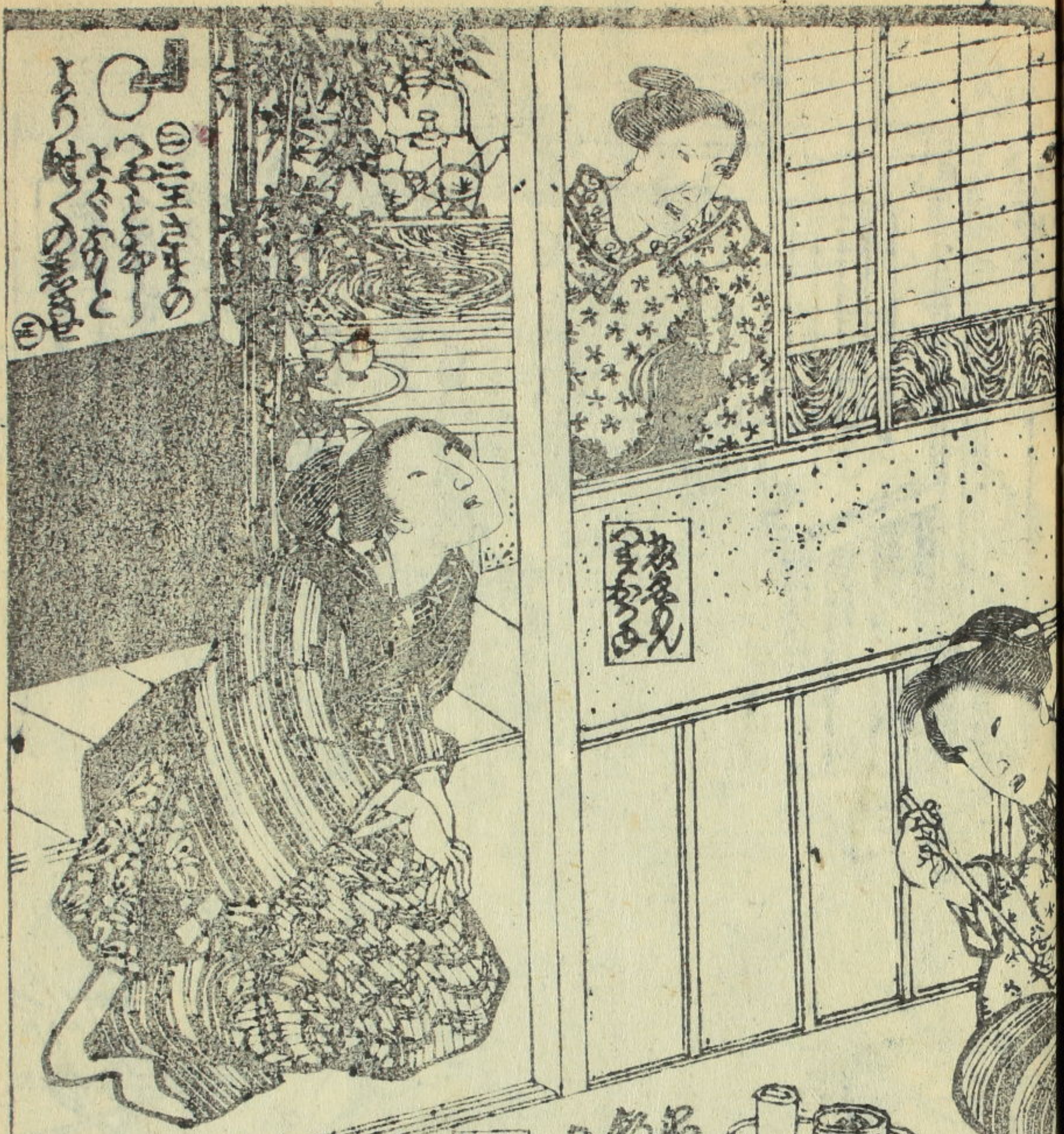
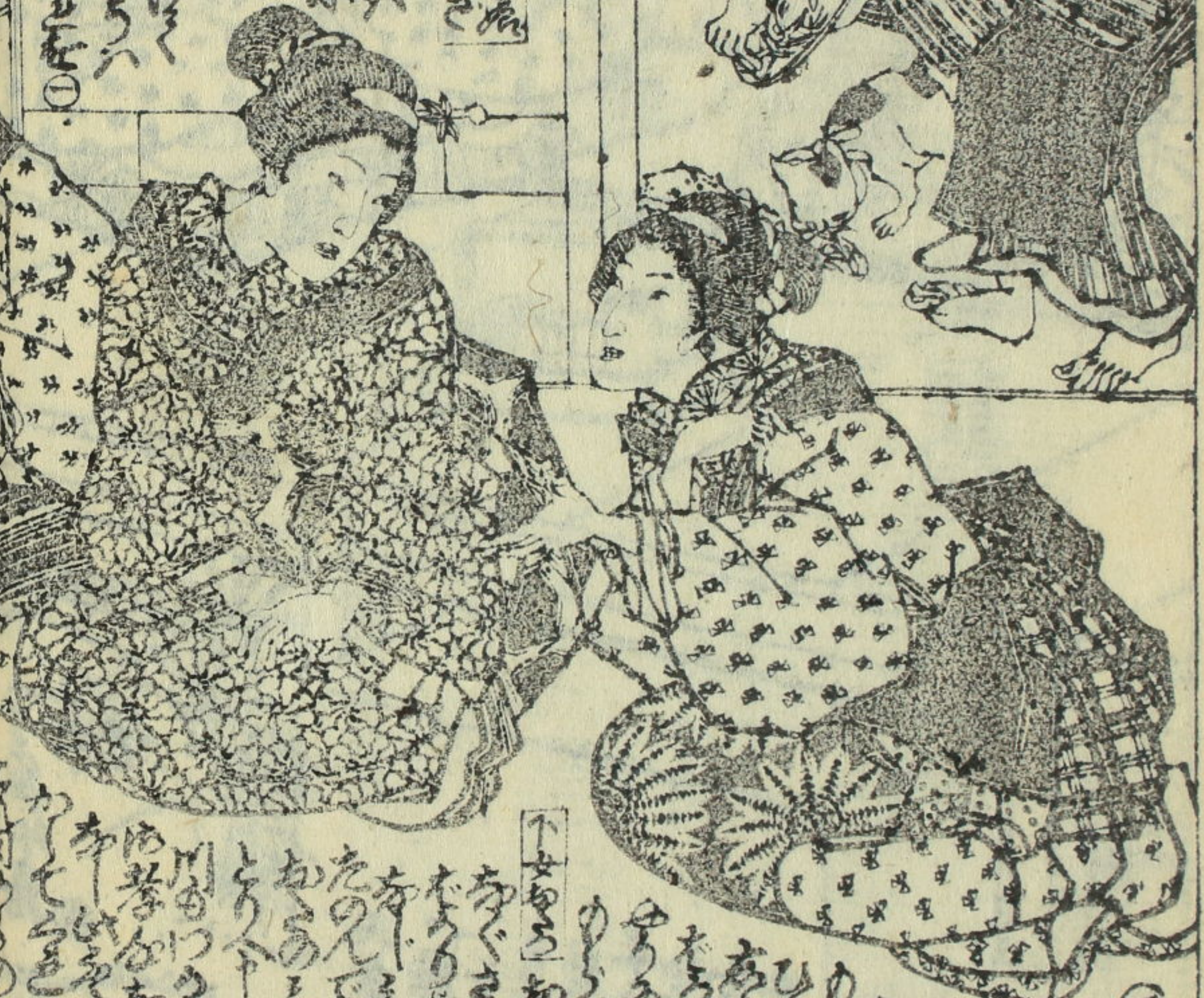
三日月の
あつらひ

三日月の
あつらひ

① なるほどまは
 りやまひつゝまひ
 ちりもりのうらひ
 はまはるゝまひ
 けり



② なるほどまは
 りやまひつゝまひ
 ちりもりのうらひ
 はまはるゝまひ
 けり



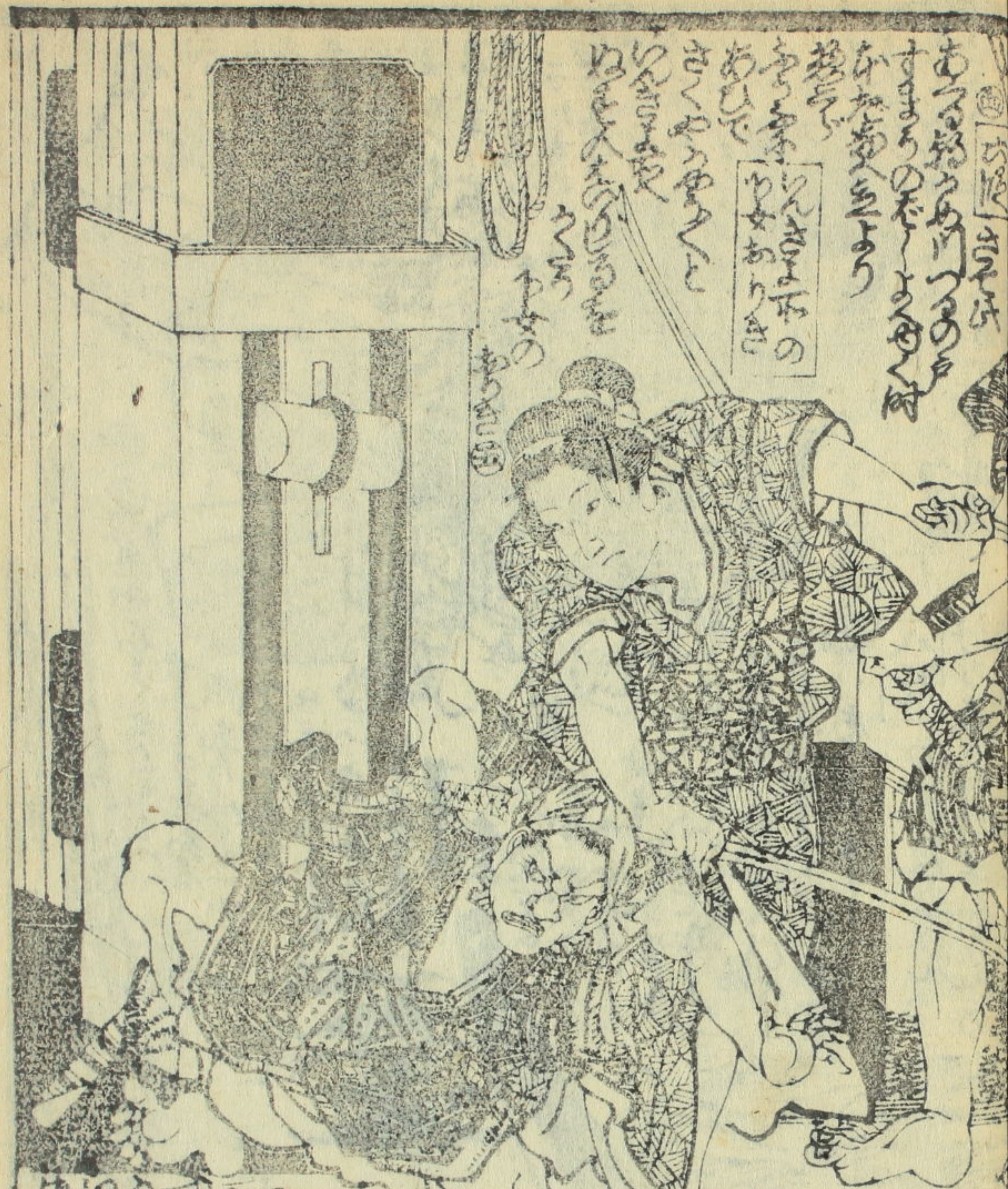
③ なるほどまは
 りやまひつゝまひ
 ちりもりのうらひ
 はまはるゝまひ
 けり

④ なるほどまは
 りやまひつゝまひ
 ちりもりのうらひ
 はまはるゝまひ
 けり



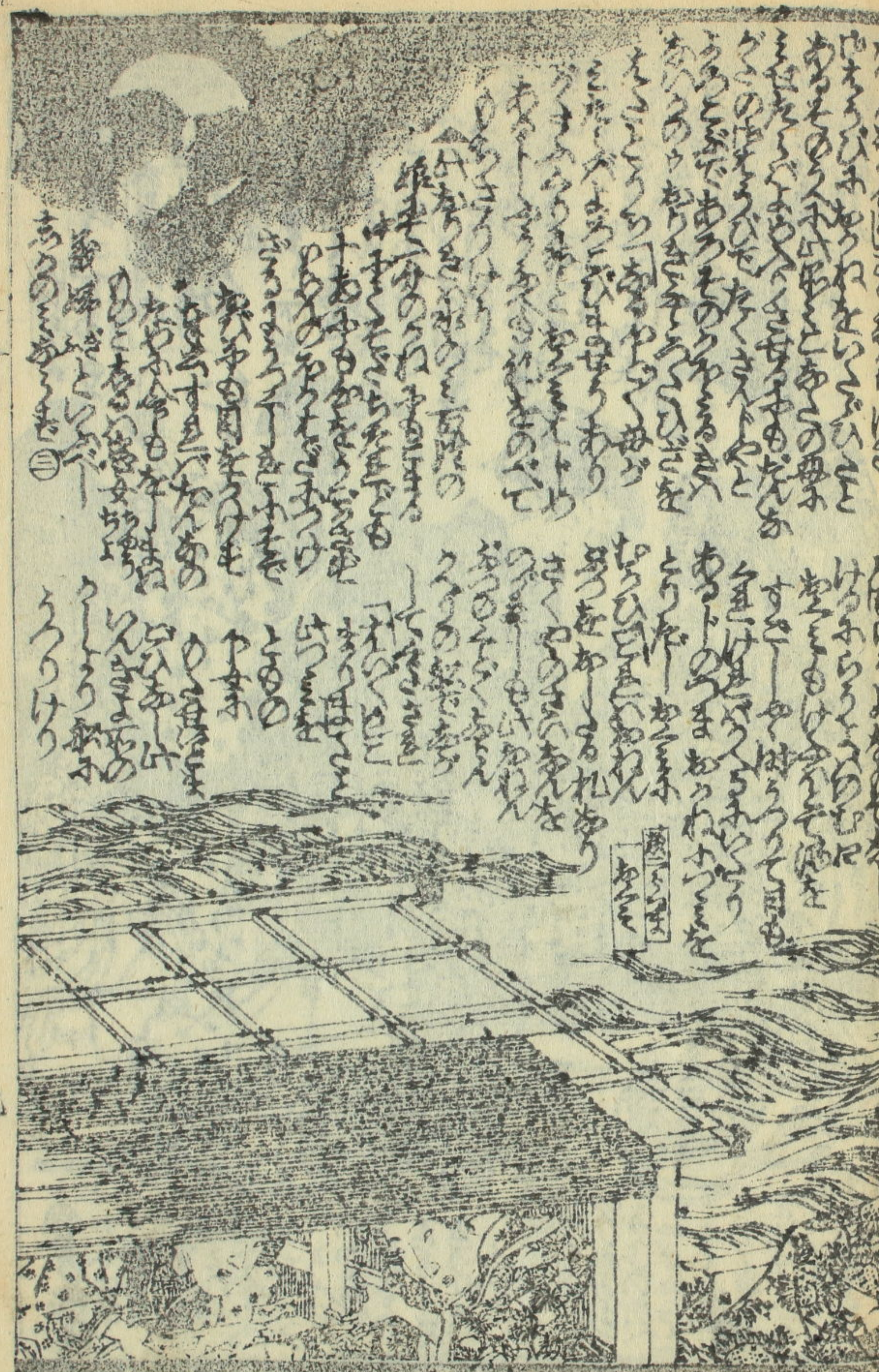
① おのれはけしきあがり
 けしきあがりけしきあがり
 おのれはけしきあがり
 けしきあがりけしきあがり
 おのれはけしきあがり
 けしきあがりけしきあがり
 おのれはけしきあがり
 けしきあがりけしきあがり

② おのれはけしきあがり
 けしきあがりけしきあがり
 おのれはけしきあがり
 けしきあがりけしきあがり
 おのれはけしきあがり
 けしきあがりけしきあがり
 おのれはけしきあがり
 けしきあがりけしきあがり



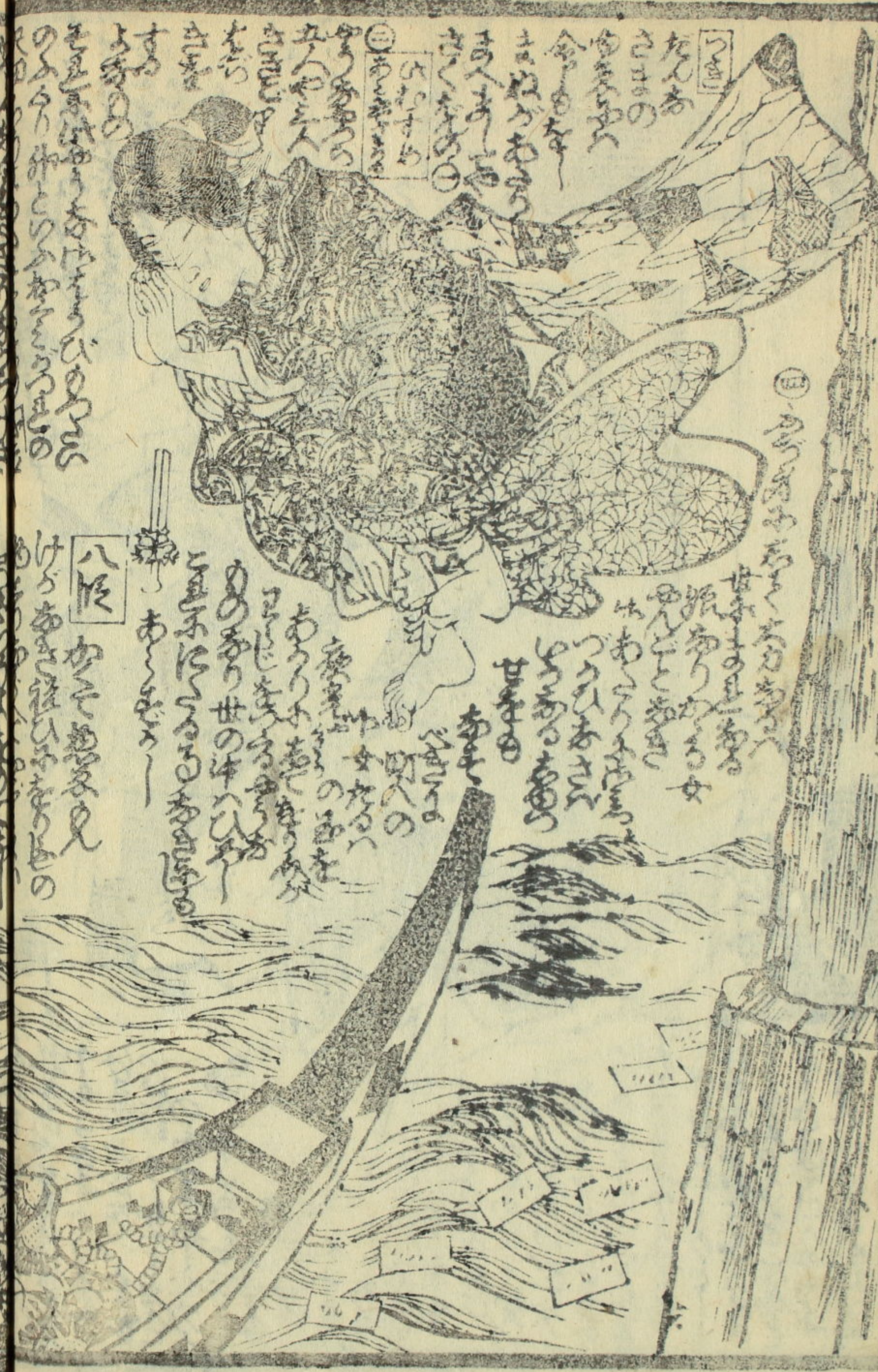
③ おのれはけしきあがり
 けしきあがりけしきあがり
 おのれはけしきあがり
 けしきあがりけしきあがり
 おのれはけしきあがり
 けしきあがりけしきあがり
 おのれはけしきあがり
 けしきあがりけしきあがり

④ おのれはけしきあがり
 けしきあがりけしきあがり
 おのれはけしきあがり
 けしきあがりけしきあがり
 おのれはけしきあがり
 けしきあがりけしきあがり
 おのれはけしきあがり
 けしきあがりけしきあがり



...のゆかり...
...のゆかり...
...のゆかり...
...のゆかり...
...のゆかり...
...のゆかり...
...のゆかり...
...のゆかり...
...のゆかり...
...のゆかり...

八咫
かたて...
...のゆかり...
...のゆかり...
...のゆかり...
...のゆかり...
...のゆかり...
...のゆかり...
...のゆかり...
...のゆかり...
...のゆかり...



...のゆかり...
...のゆかり...
...のゆかり...
...のゆかり...
...のゆかり...
...のゆかり...
...のゆかり...
...のゆかり...
...のゆかり...
...のゆかり...

八咫
かたて...
...のゆかり...
...のゆかり...
...のゆかり...
...のゆかり...
...のゆかり...
...のゆかり...
...のゆかり...
...のゆかり...

尺田のま
其二 六月

大田の月の
おぼろの
らうよ海
色けんまき
下女
おぼろの
とそちちた
みりーのう
ふるは月をま



ありけり
おぼろの
らうよ海
色けんまき
下女
おぼろの
とそちちた
みりーのう
ふるは月をま



おぼろの
らうよ海
色けんまき
下女
おぼろの
とそちちた
みりーのう
ふるは月をま



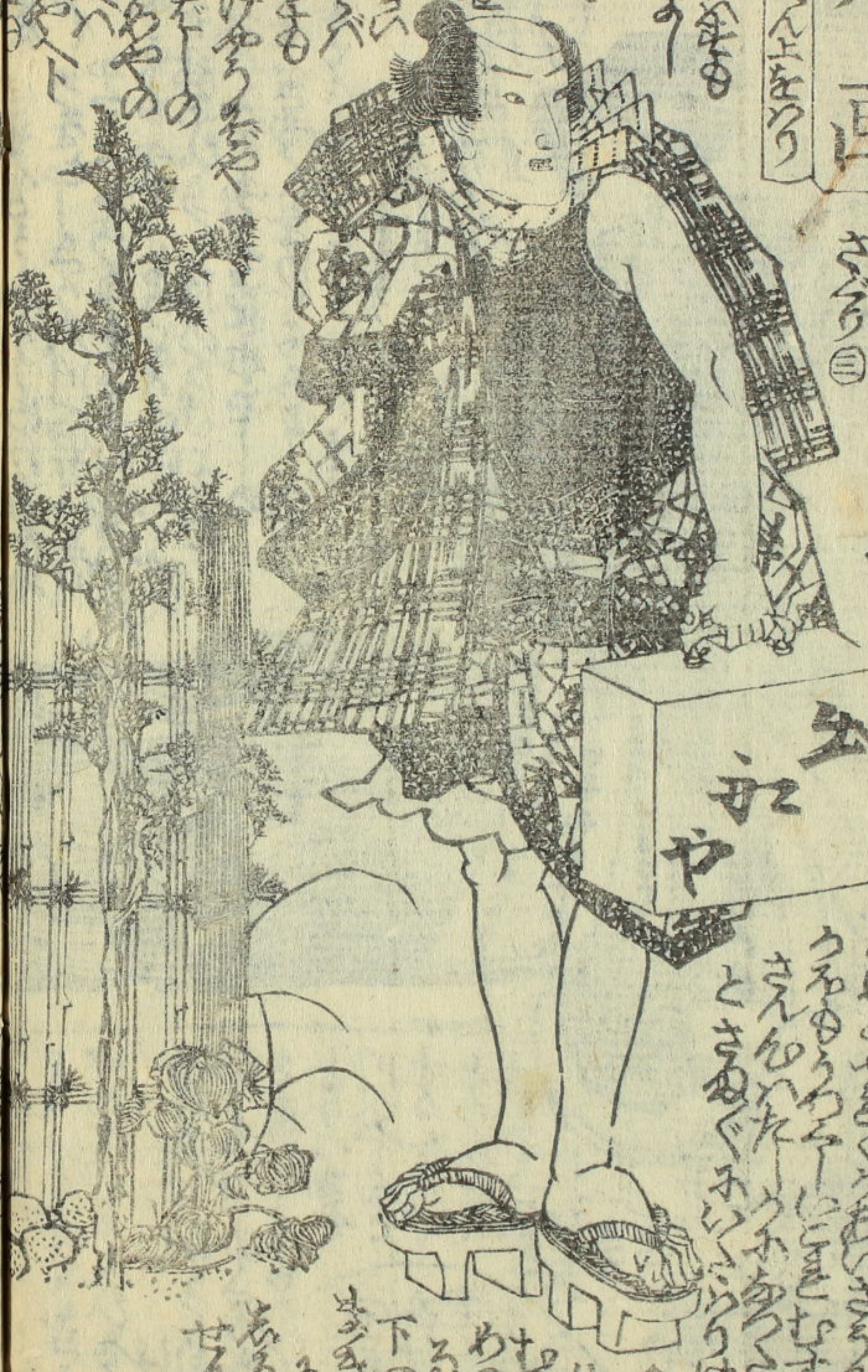
安政三年丙辰夏

京山作 

國郷画

びんごの赤上をり

つぎ 神ありおのまの
 たかきのもをま
 らをきえを
 おのまをり人
 ちろくとのりおを
 まるおいよま
 よんぐらふおを
 人ゆりおを
 ちろくとのりおを
 かくもあそびおを
 つどいおを
 けいおを
 つどいおを



① いろまのちもあかしくあそび
 だいのちもあかしくあそび
 だいのちもあかしくあそび
 だいのちもあかしくあそび
 だいのちもあかしくあそび
 だいのちもあかしくあそび

④ あかきおむろひのけ
 あかきおむろひのけ
 あかきおむろひのけ
 あかきおむろひのけ
 あかきおむろひのけ
 あかきおむろひのけ

下のちの
 下のちの
 下のちの

辰八

琴声美人録十四編巻下

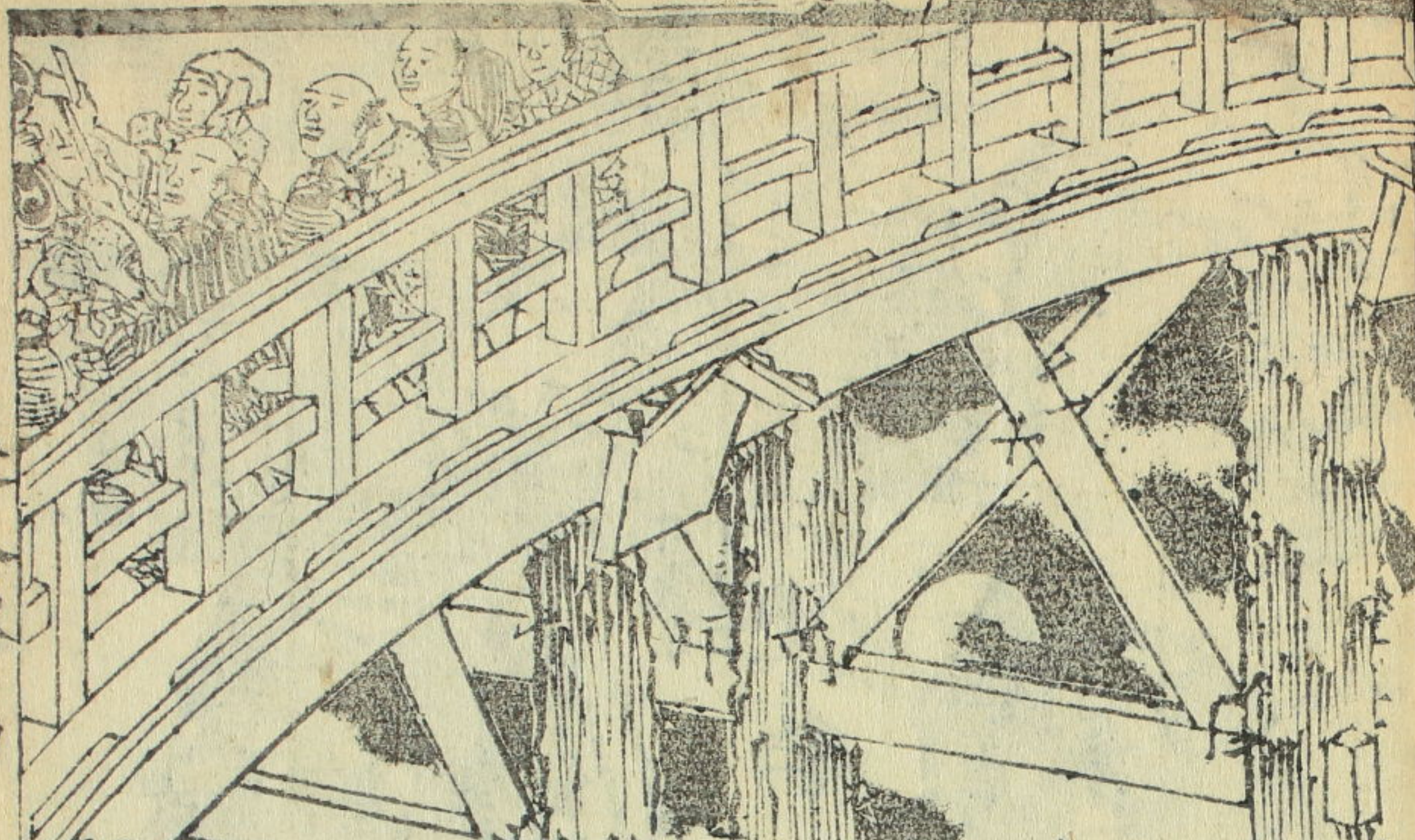
九段

あかきおむろひのけ
 あかきおむろひのけ
 あかきおむろひのけ
 あかきおむろひのけ
 あかきおむろひのけ
 あかきおむろひのけ

十段

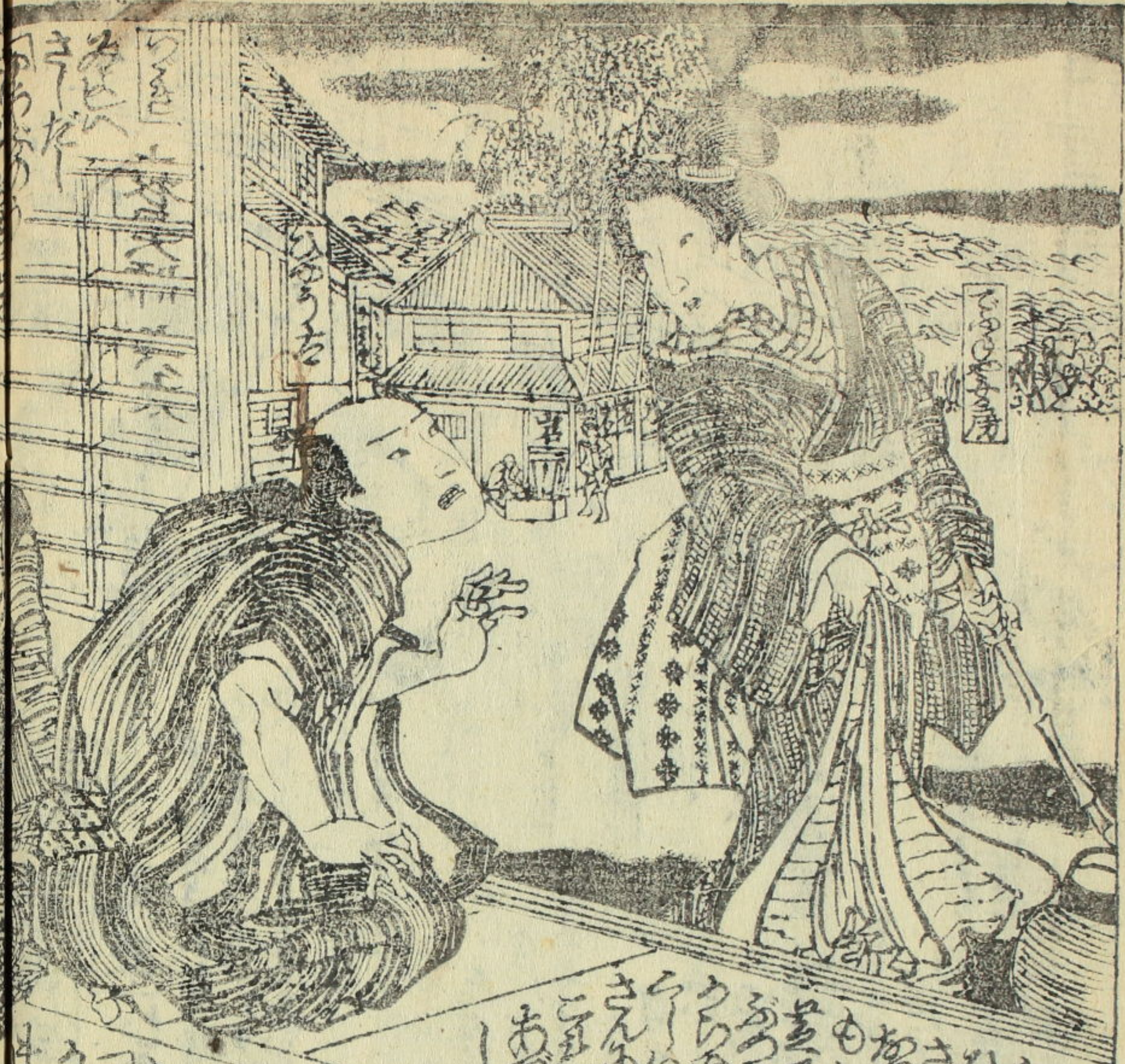
女房あかきおむろひのけ

三 

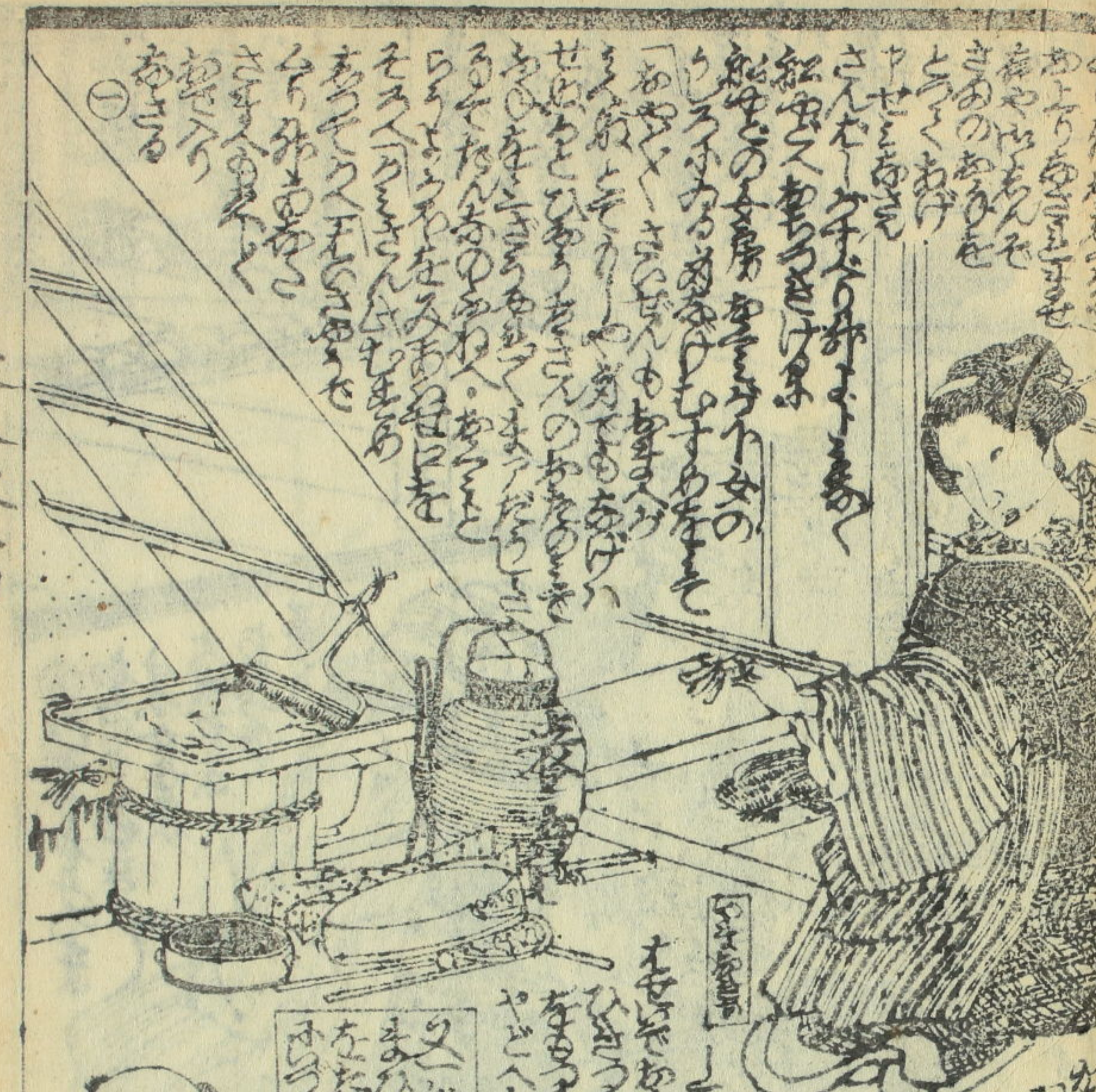


美人續十四

十一

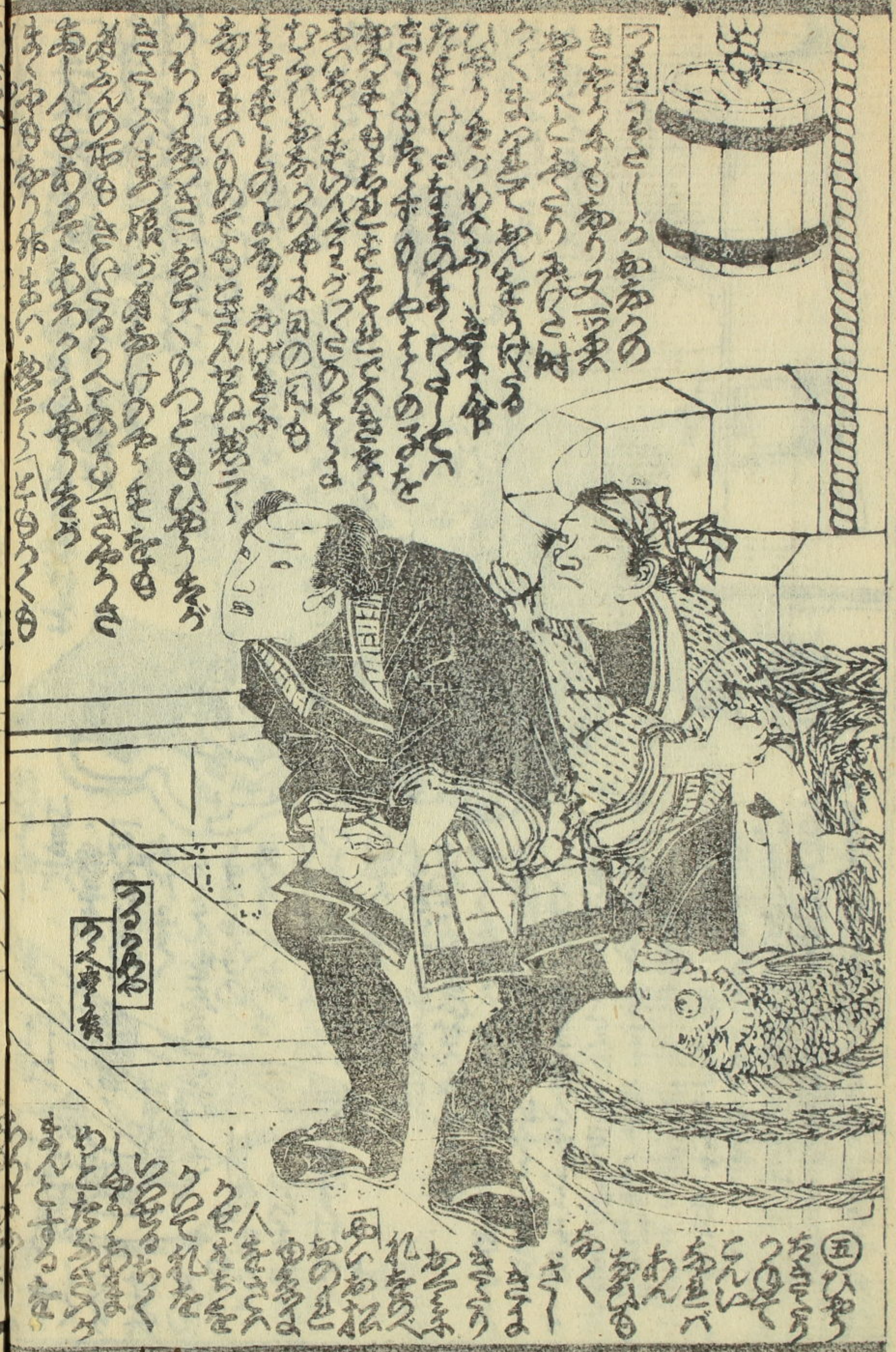


○さあうじのひやうをさまりて
 ひやうのむらさきをさあうじの
 さあうじのむらさきをさあうじの
 さあうじのむらさきをさあうじの
 さあうじのむらさきをさあうじの
 さあうじのむらさきをさあうじの
 さあうじのむらさきをさあうじの



あさりのあさりをあさる
 あさりのあさりをあさる
 あさりのあさりをあさる
 あさりのあさりをあさる
 あさりのあさりをあさる
 あさりのあさりをあさる





美人鏡十四

十五



いそいそと
お茶をまわ
しついでに
おちつちを
よこすおち
あまよおち
村ののこ
いそいそと
うしろを
ひらき
さむのち
おちつち
さむいそ
とのおち
さむいそ
あまよ
いそいそ
おちつち

おちつち
いそいそ
おちつち
いそいそ
おちつち
いそいそ
おちつち
いそいそ
おちつち
いそいそ
おちつち
いそいそ

おちつち
いそいそ
おちつち
いそいそ
おちつち
いそいそ
おちつち
いそいそ
おちつち
いそいそ
おちつち
いそいそ
おちつち
いそいそ
おちつち
いそいそ



おちつち
いそいそ
おちつち
いそいそ
おちつち
いそいそ
おちつち
いそいそ
おちつち
いそいそ
おちつち
いそいそ

おちつち
いそいそ
おちつち
いそいそ
おちつち
いそいそ
おちつち
いそいそ
おちつち
いそいそ
おちつち
いそいそ
おちつち
いそいそ
おちつち
いそいそ

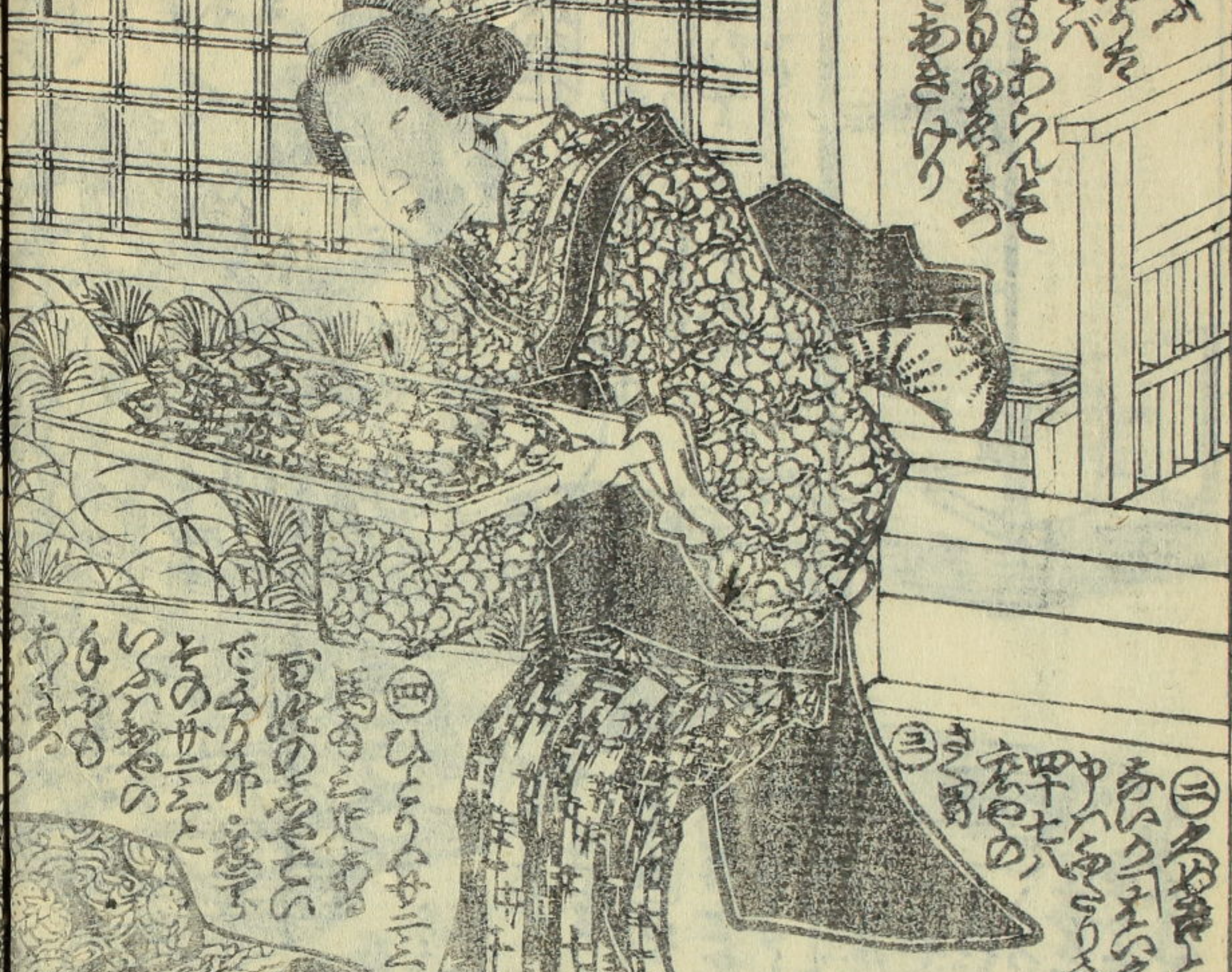
おちつち
いそいそ
おちつち
いそいそ
おちつち
いそいそ
おちつち
いそいそ
おちつち
いそいそ
おちつち
いそいそ
おちつち
いそいそ
おちつち
いそいそ

美人鏡十段

三五

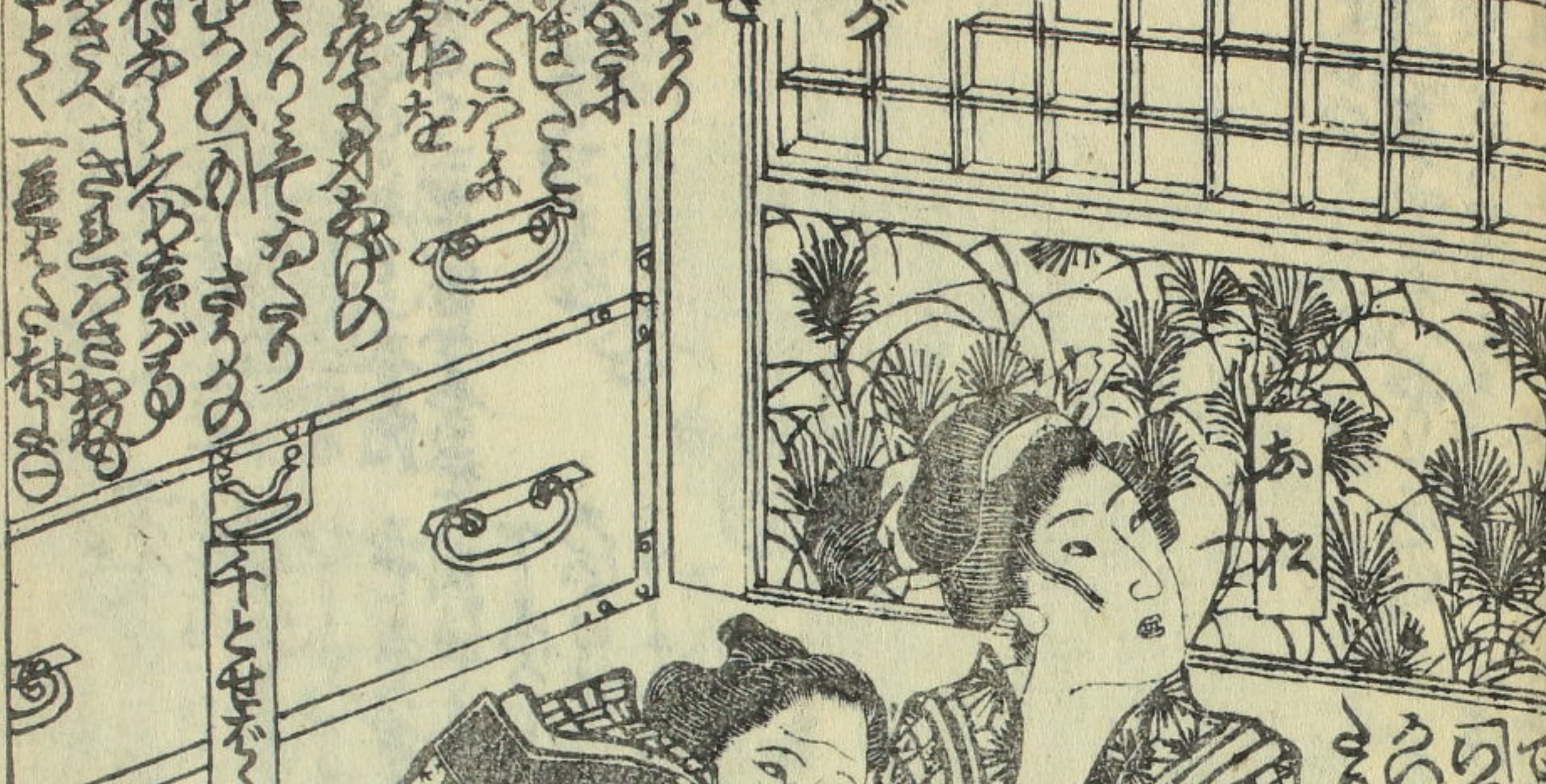
ついでに...
おれは...
おれは...
おれは...

おれは...
おれは...
おれは...
おれは...



おれは...
おれは...
おれは...
おれは...

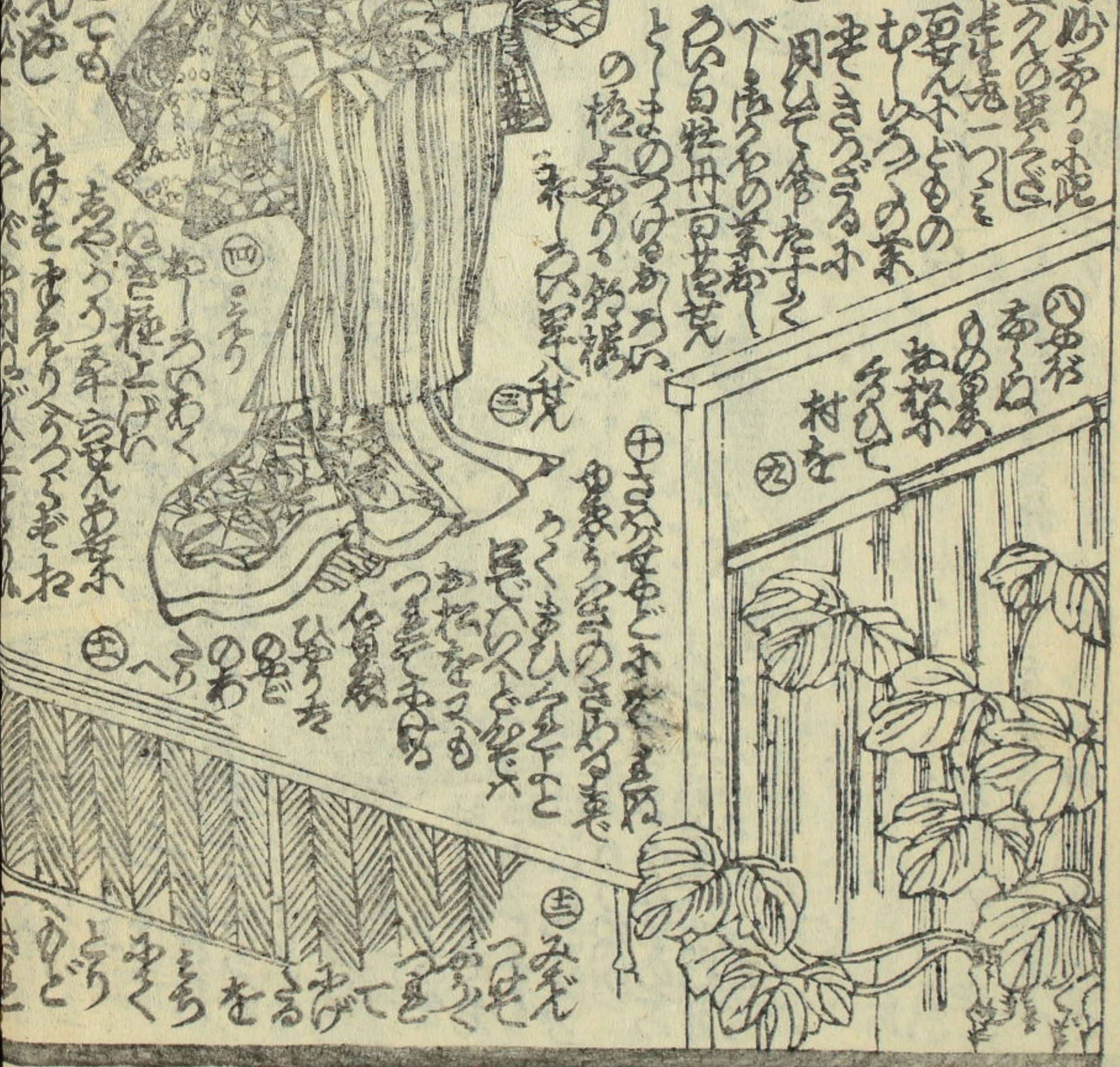
おれは...
おれは...
おれは...
おれは...



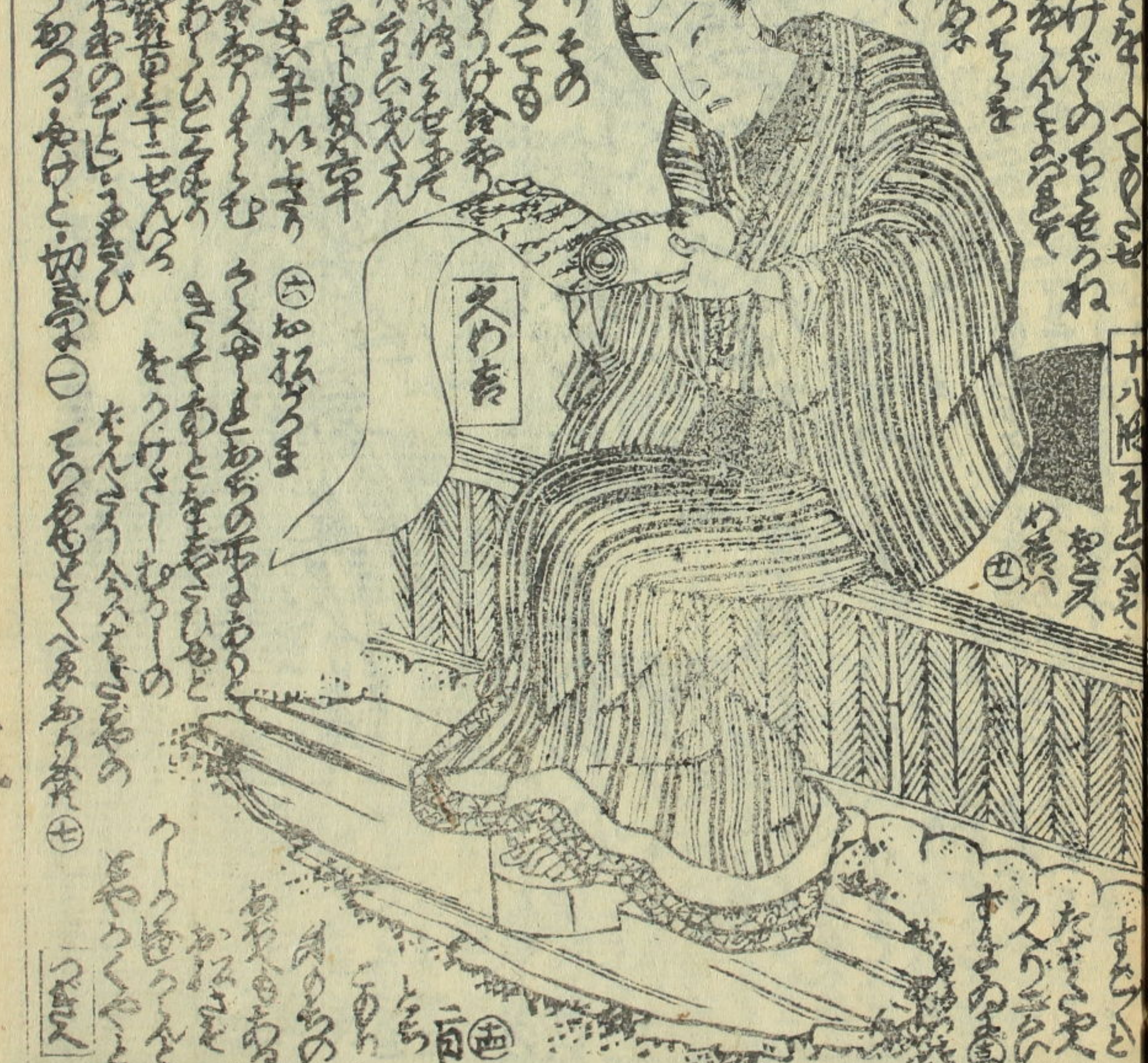
おれは...
おれは...
おれは...
おれは...

① ぬきあり。お鹿
 ② 五ノの奥に
 ③ 要ん小もの
 ④ 月とて命をす
 ⑤ 下はつちの茶を
 ⑥ の白牡丹の茶を
 ⑦ とはのていあ
 ⑧ 梅とありの竹
 ⑨ 赤い茶を
 ⑩ ぬきありの茶
 ⑪ のの茶
 ⑫ お茶
 ⑬ 村を

① ぬきありの茶
 ② 五ノの奥に
 ③ 要ん小もの
 ④ 月とて命をす
 ⑤ 下はつちの茶を
 ⑥ の白牡丹の茶を
 ⑦ とはのていあ
 ⑧ 梅とありの竹
 ⑨ 赤い茶を
 ⑩ ぬきありの茶
 ⑪ のの茶
 ⑫ お茶
 ⑬ 村を



① ぬきありの茶
 ② 五ノの奥に
 ③ 要ん小もの
 ④ 月とて命をす
 ⑤ 下はつちの茶を
 ⑥ の白牡丹の茶を
 ⑦ とはのていあ
 ⑧ 梅とありの竹
 ⑨ 赤い茶を
 ⑩ ぬきありの茶
 ⑪ のの茶
 ⑫ お茶
 ⑬ 村を



つぎつぎを
ころもあめ
も人ふあま
まろこあま
まより



久ね

お松

ひやうき

⑤ ようやくいふに
あまのこころ
くつとあまの
あまのこ
あまのこ

④ あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ

① 人の心は
あまのこころ
あまのこころ



三 恋二

④ あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ

あま

⑤ あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ

